

## 日本政策金融公庫（農林水産事業） パートナーネット 初期設定ガイド

作成者	日本政策金融公庫 企画管理本部 システムオペレーションオフィス 運用サービスグループ
作成日	2016年2月19日
最終更新日	2022年4月15日
照会先	日本政策金融公庫 サービスデスク (TEL : 03-3570-7615)

## 日本政策金融公庫(農林水産事業) パートナーネット 初期設定ガイド

証明書のインストール手順、ブラウザ（Internet Explorer、Microsoft Edge）の設定、パートナーネットへの接続確認について説明します。なお、パソコンの設定変更が必要な場合があります。必要に応じて、金融機関内のシステム部門等と連携しながら、パートナーネットの初期設定を実施してください。

### 目次

1	パートナーネットに使用するパソコン等の要件	2
2	用語の定義	3
3	電子証明書のインストール	4
4	電子証明書の確認	8
5	ブラウザの設定	18
6	パートナーネットへの接続確認	27
7	ログアウト及びブラウザの終了	30
8	（参考）旧ソフトウェアの削除	31
9	添付資料	34

## 1 パートナーネットに使用するパソコン等の要件

パートナーネットをご利用いただけるパソコン環境は次のとおりです。

### (1) パソコン

- ・動作周波数が 1GHz 以上の Intel 互換 CPU（2 コア 2GHz 以上を推奨）
- ・1GB 以上のシステムメモリ（2GB 以上を推奨）
- ・500MB 以上の空き容量がある、総容量 40GB 以上のハードディスク  
(空き容量 1GB 以上、総容量 80GB 以上を推奨)
- ・各種文書印刷用プリンタ



### (2) ソフトウェア

推奨環境は以下のとおりです（令和 3 年 5 月 6 日以降）。

- ・OS（Windows8.1 及び Windows10）
- ・ブラウザ（Internet Explorer 11（※）及び Microsoft Edge）
- ・PDF 形式ファイルの閲覧ソフト（Adobe Reader XI 以上を推奨）
- ・Microsoft Office 2013 以降

（※）Internet Explorer (IE) 11 の Microsoft によるサポートは、2022 年 6 月 15 日までとなります。

### (3) インターネット通信回線

- ・インターネット通信回線 **必須**（ダイヤルアップ回線など低速回線であっても接続は可能ですが、かなり動作が遅くなります。光ファイバーやADSL等、高速ブロードバンド回線を推奨します。）

## 2 用語の定義

### (1) ユーザID

パートナーネットの利用者を特定するための文字列です。受託金融機関ごとに公庫が発行します。

### (2) パスワード

パートナーネットが利用者の接続を許可するための文字列です。パスワードは受託者が設定し、随時変更できます。

但し、利用開始時に使用する最初のパスワード（以下「初期パスワード」という。）は、公庫が設定します。

- ・ユーザID及び初期パスワードは、公庫からの利用承認時に郵送する、初期設定用ログイン情報に記載されています。
- ・パソコンの変更等を行う場合に必要な情報になりますので、初期設定ログイン情報は大切に保管してください。
- ・初期設定用ログイン情報の再発行が必要なときは、所定の再発行依頼書を公庫あて提出してください。

### (3) 電子証明書

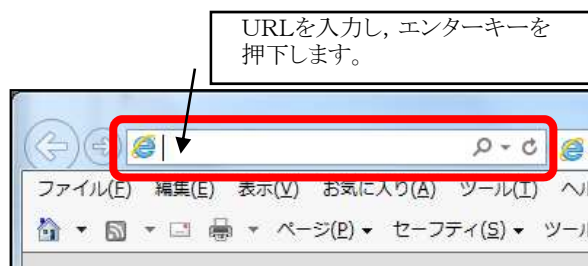
受託者の本人性及び権限の正当性を確認又は証明するための電磁的データです。パートナーネットではセキュリティ対策として公開鍵基盤（PKI）の技術を使用して通信の暗号化を行っており、電子証明書には暗号化鍵も含まれています。

なお、パートナーネットでは電子証明書の有効期間は10年間としています。

### 3 電子証明書のインストール

- ①接続先URL(\*)をブラウザのアドレス欄に入力し、Enter キーを押下します。

(\*)…「ユーザID」及び初期パスワードを郵送した際に通知したURLのうち、電子証明書のインストール用のもの。



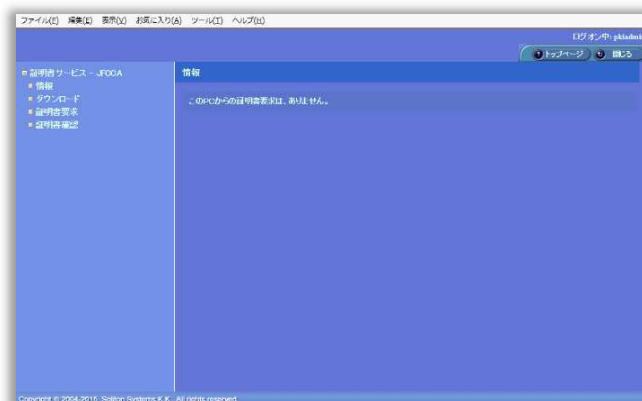
・Windows10に同梱されているMicrosoft Edgeでは、電子証明書を取得することができません。パートナーネットへの接続にMicrosoft Edgeを使用する場合でも、電子証明書をインストールする際はInternet Explorer (IE) 11を使用してください。Windows10でのIE11の起動方法は、P51～52の「9-4 Windows10でのInternet Explorer 11の起動方法」を参照してください。(※)

(※)Internet Explorer (IE) 11のMicrosoftによるサポートは、2022年6月15日までとなります。Microsoft EdgeのChromium版のIEモードで電子証明書を取得することができますので、電子証明書をインストールする際は、Microsoft EdgeのChromium版のIEモード使用を推奨します。Microsoft EdgeのChromium版のIEモード設定は、P53の「9-5 Microsoft EdgeのChromium版のIEモード設定」を参考にしてください。

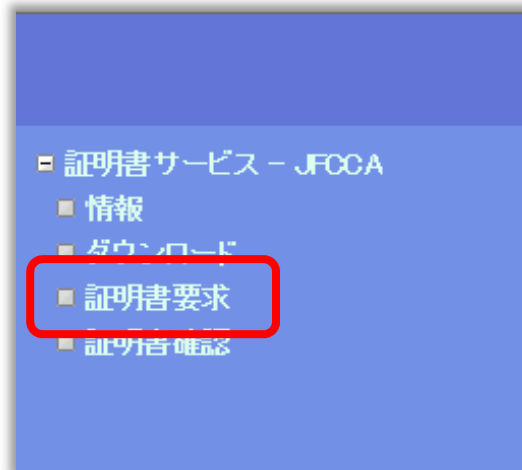
- ②ログインの際には、ユーザ名及びパスワードの入力が求められます。事前に郵送された「ユーザID」及び初期パスワードを入力して、OK ボタンをクリックしてください。



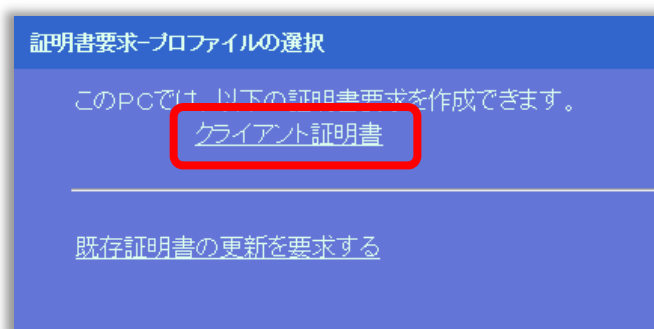
- ③ログインが成功すると、デジタル認証局の画面(右図)が表示されます。



- ④【証明書サービス-JFCCA】のメニューで、「証明書要求」のリンクをクリックします。



- ⑤【証明書要求-プロフィールの選択】で、『クライアント証明書』のリンクをクリックします。



【以下のメッセージが表示される場合】

- ・本ガイドP10「トラブルシューティング」の『[A. NaRAClientControlがインストールされていません。](#)』を参照してください。

NaRAClientControlがインストールされていません。こちらをクリックしてインストールを実行して下さい。

【以下のメッセージが表示される場合】

- ・本ガイドP11「トラブルシューティング」の『[B. このWebサイトのアドオンは実行できませんでした。](#)』を参照してください。

NaRAClientControlをインストールしています。

この Web サイトのアドオンは実行できませんでした。

【NaRAClientControl のインストールウィンドウが表示されない場合】

・本ガイドP17「トラブルシューティング」の『[C. NaRAClientControlのインストールウィンドウが表示されない](#)』を参照してください。

⑥ 【要求の作成】画面（下図）が表示されます。

農林パートナーネットシステムを利用する場合は、部署名に「nourin」と入力し、OK ボタンをクリックしてください。（部署名には「nourin」以外を入力することはできません。）

（半角小文字）

農林パートナーネットシステムを利用する場合 :

**nourin**

⑦ 証明書のインストールが開始されます。

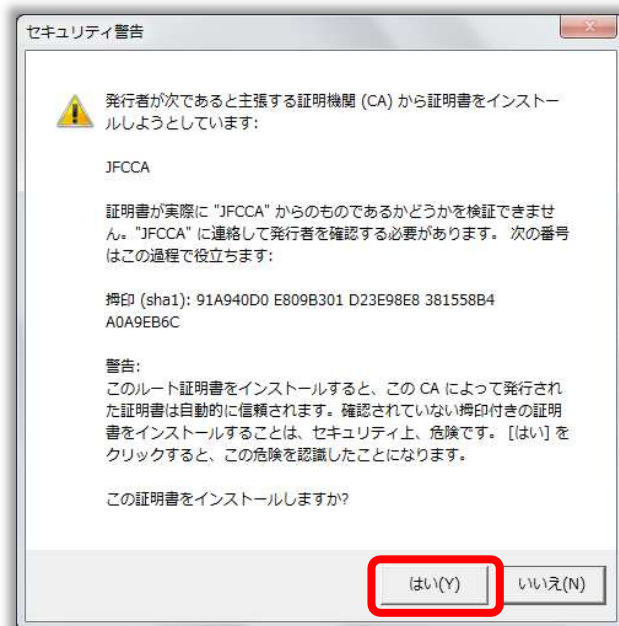


⑧ 【Microsoft Windows 8.1をご使用の場合】

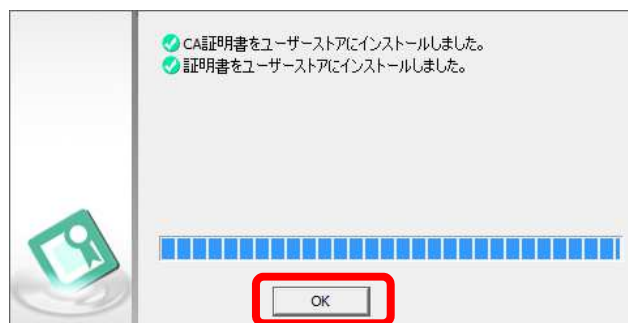
下記のセキュリティ警告画面が表示される場合があります。許可するボタンをクリックして先に進んでください。



⑨ 証明書のインストール中に【セキュリティ警告】が表示される場合があります。はいボタンをクリックしてインストールを継続してください。



⑩ 証明書のインストールが終わりましたら、OK ボタンをクリックします。



⑩証明書の状態が「発行」となっていることを確認します。

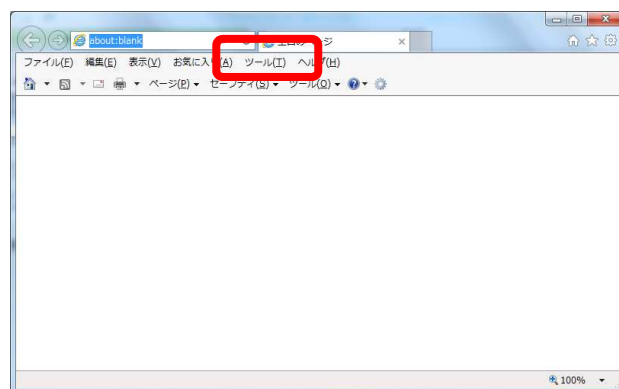
状態	申請日時	プロファイル	証明書目的	申請者	タスク
発行	2015/12/03 15:09:36	クライアント証...	TLS	...	インストール ダウンロード 削除

画面右の「インストール」、「ダウンロード」、「削除」はクリックしないでください(上図枠内)。

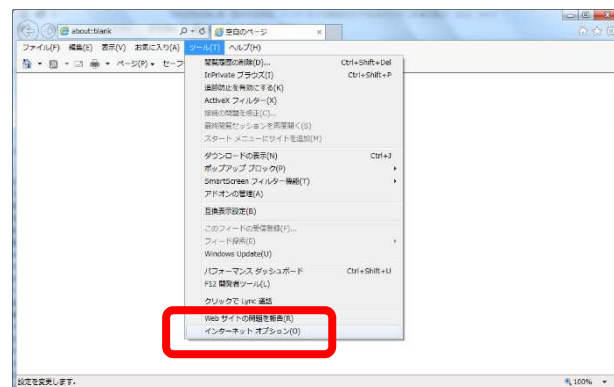
## 4 電子証明書の確認

証明書が正しくインストールされたことを確認します。

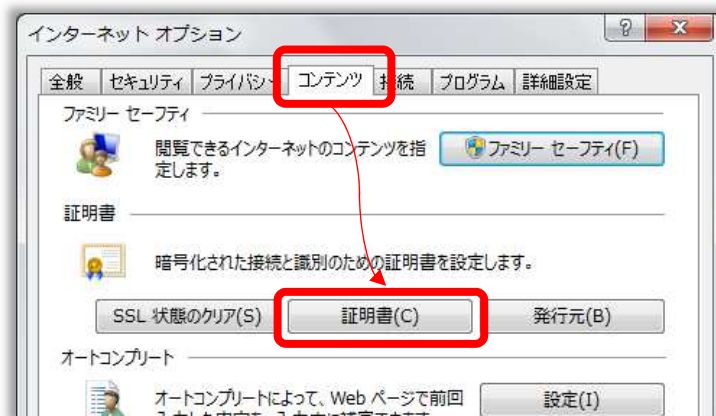
①Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」をクリックします。



②「インターネットオプション(O)」をクリックします。



③「コンテンツ」タブを選択し、証明書ボタンをクリックします。

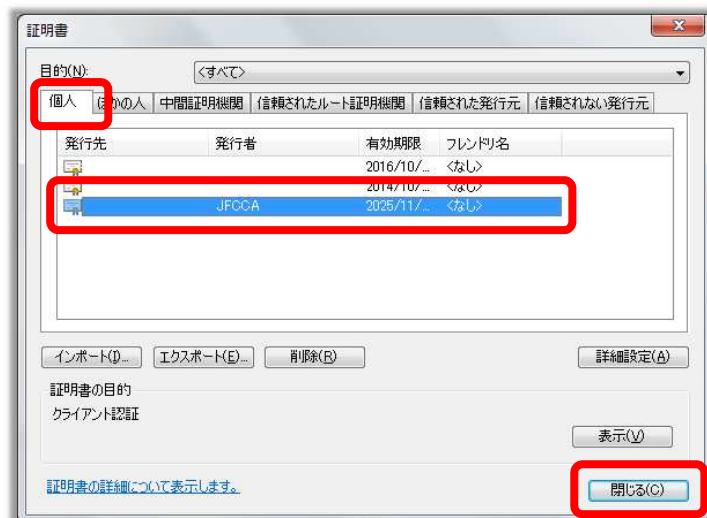




- ④ 「個人」タブの中にインストールした証明書があることを確認し、閉じるボタンをクリックします。

発行先 : ユーザ名  
(事前に郵送された「ユーザID」)

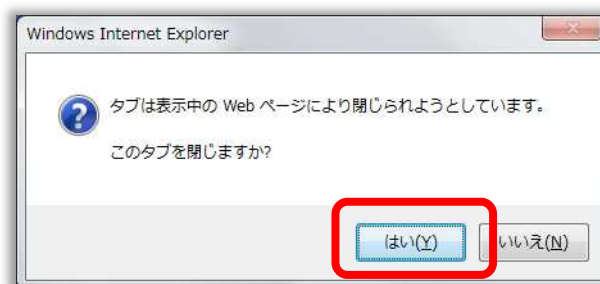
発行者 : JFCCA



- ⑤ デジタル認証局の画面で、「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑥ 終了の確認画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。



以上で電子証明書のインストールが終了しました。続いて、ブラウザの初期設定を行ってください。  
P18. 「5. ブラウザの設定」へお進みください。

## トラブルシューティング

### A. NaRAClientControl がインストールされていません。

〔対処法〕 NaRAClientControl のインストールを実施します。

- ①インストールガイダンスメッセージが表示された場合、「こちらを」のリンクをクリックし、NaRAClientControl のインストールを実施します。

NaRAClientControl がインストールされていません。 [こちらをクリック](#)してインストールを実行して下さい。

- ②インストールウィンドウが起動されますので、[インストール](#)ボタンをクリックしてください。  
(インストールウィンドウが表示されない場合は、P16 の『[C. NaRAClientControl のインストールウィンドウが表示されない](#)』を参照してください。)



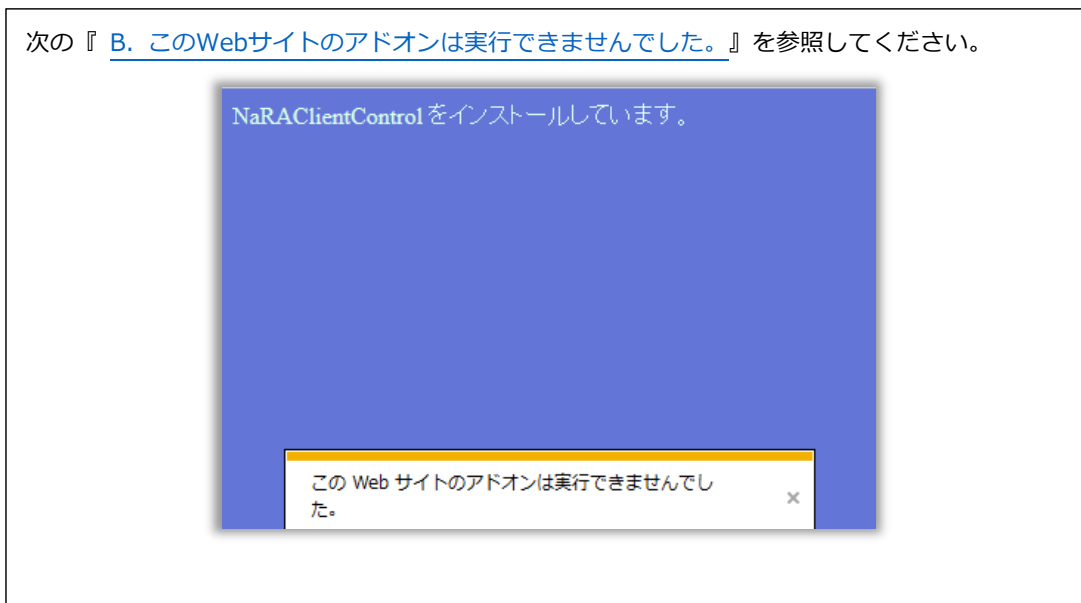
- ③確認ダイアログで[インストールする](#)ボタンをクリックし、インストールします。



- ④インストールが終わりましたら Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「2 電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

【以下のメッセージが表示される場合】

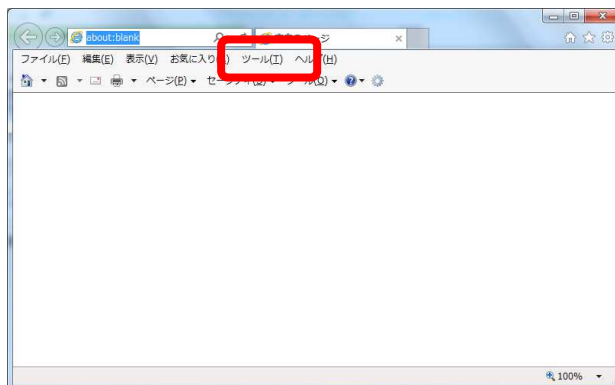
次の『 [B. このWebサイトのアドオンは実行できませんでした。](#) 』を参照してください。



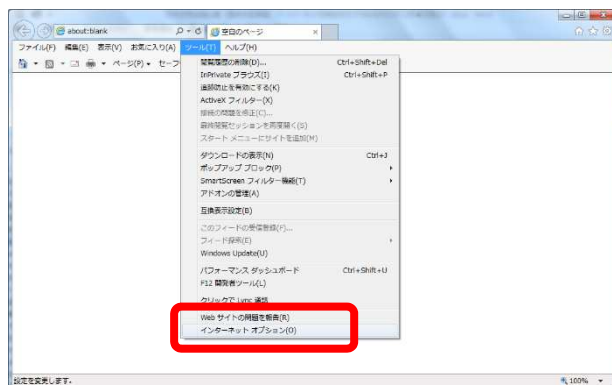
## B. この Web サイトのアドオンは実行できませんでした。

〔対処法〕 ブラウザのセキュリティ設定を変更します。

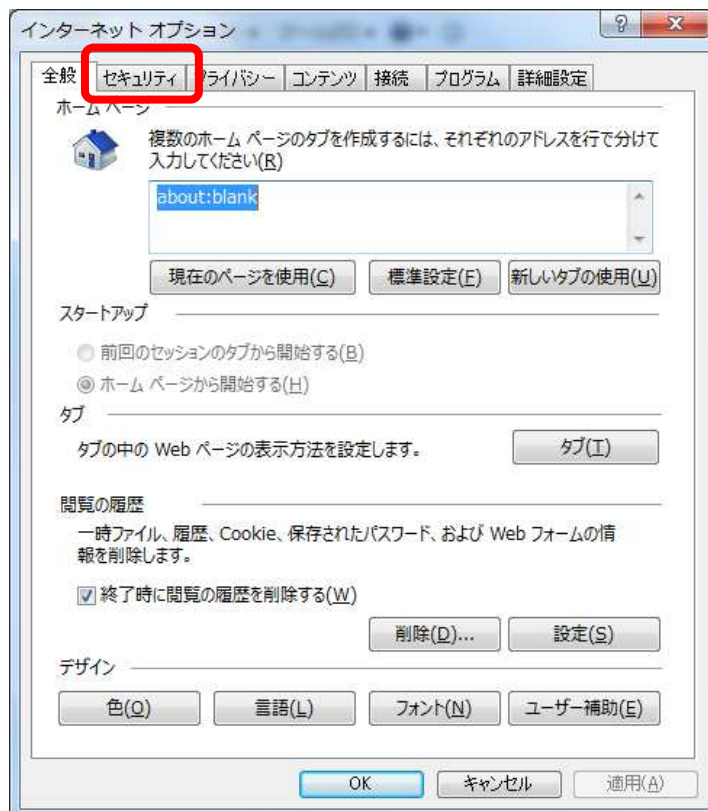
①Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」をクリックします。



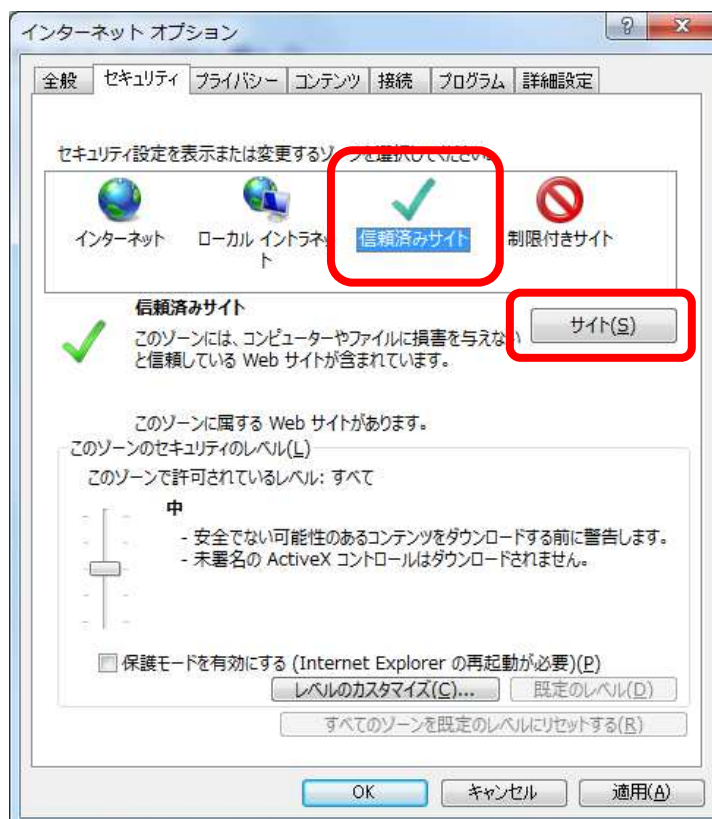
② 「インターネットオプション(O)」をクリックします。



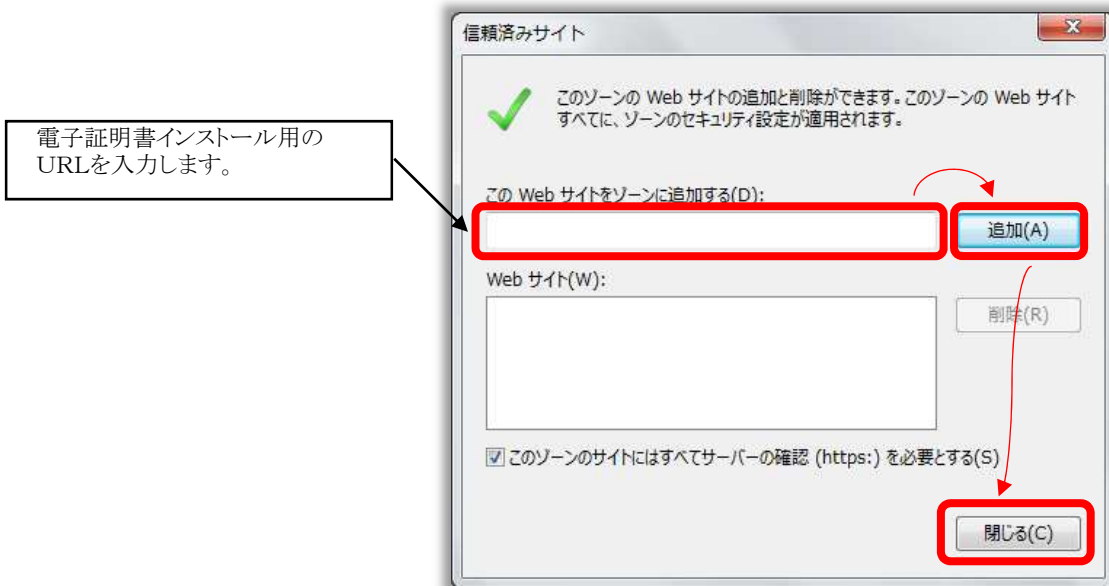
③ 「セキュリティ」 タブをクリックします。



④ 「信頼済みサイト」 を選択し、「サイト(S)」 ボタンをクリックします。

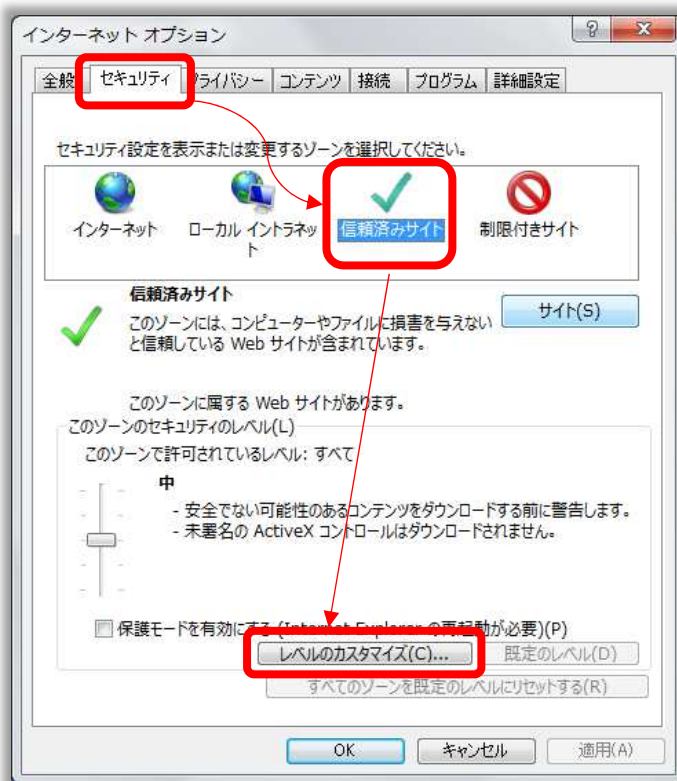


- ⑤ 『この Web サイトをゾーンに追加する(D)』 に、P3 ①で入力したものと同一接続先 URL (電子証明書のインストール用)を入力してください。追加ボタンをクリック後、『Web サイト』に追加されたことを確認し、閉じるボタンをクリックしてください。

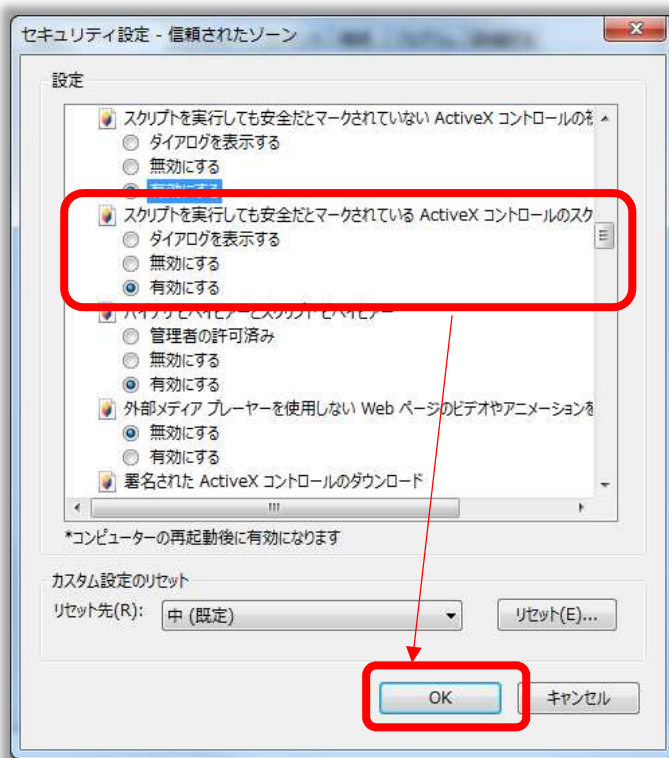


入力した URL の一部が省略されて「Web サイト」欄に表示される場合がありますが、問題ありません。

- ⑥ 「セキュリティ」タブ → 「信頼済みサイト」を選択し、レベルのカスタマイズボタンをクリックします。

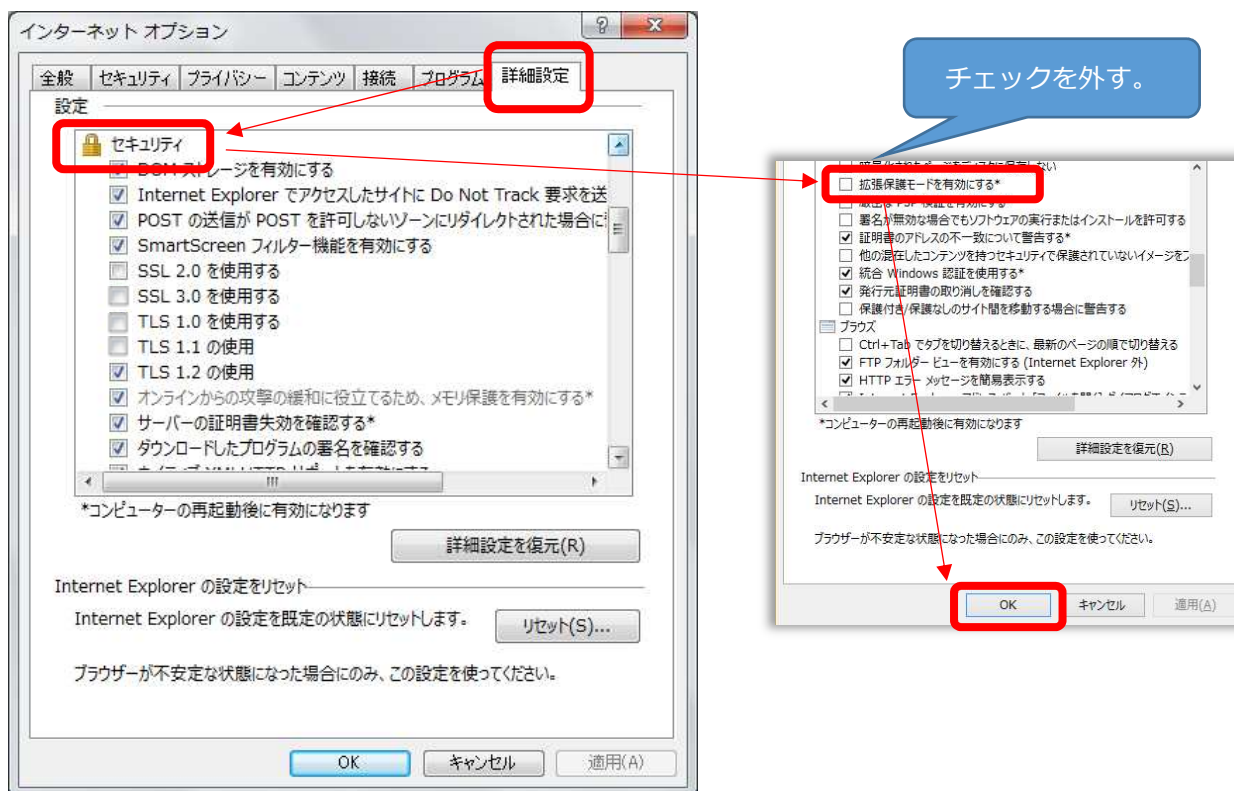


⑦ActiveX コントロールとプラグイン → スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行 → **有効にする** を選択します。 **OK** ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



⑧詳細設定タブ → セキュリティ → 拡張保護モードを有効にする → チェックを外します。

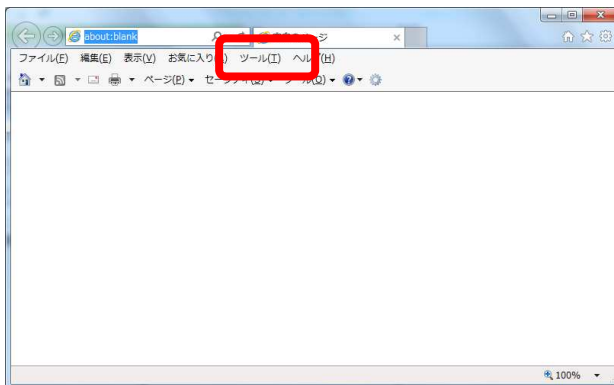
※「拡張保護モードを有効にする」という項目がない場合は、次へ進んでください。



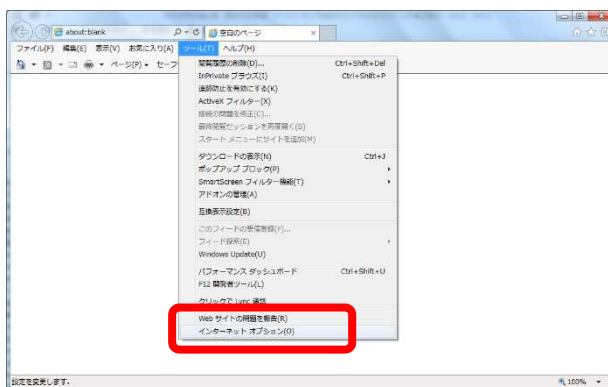
- ⑨コンピュータを再起動し、新たに起動した Web ブラウザで「2 電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

【上記の設定を行っても正常に操作できない場合】

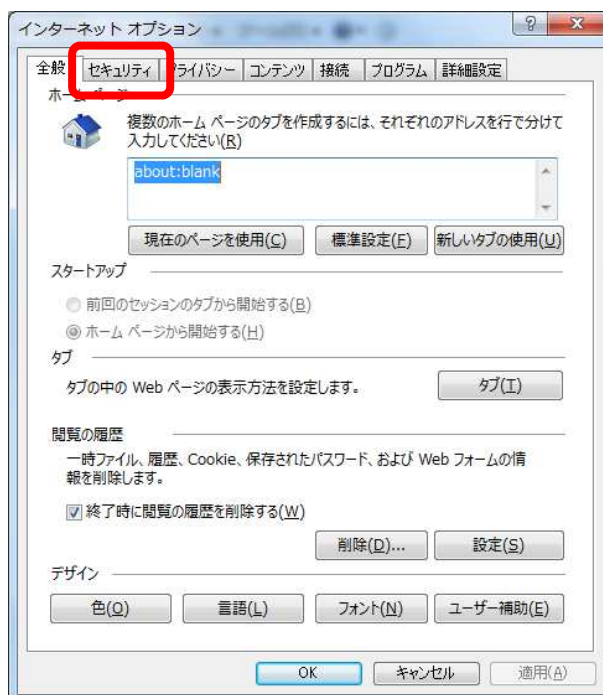
- ①Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」をクリックします。



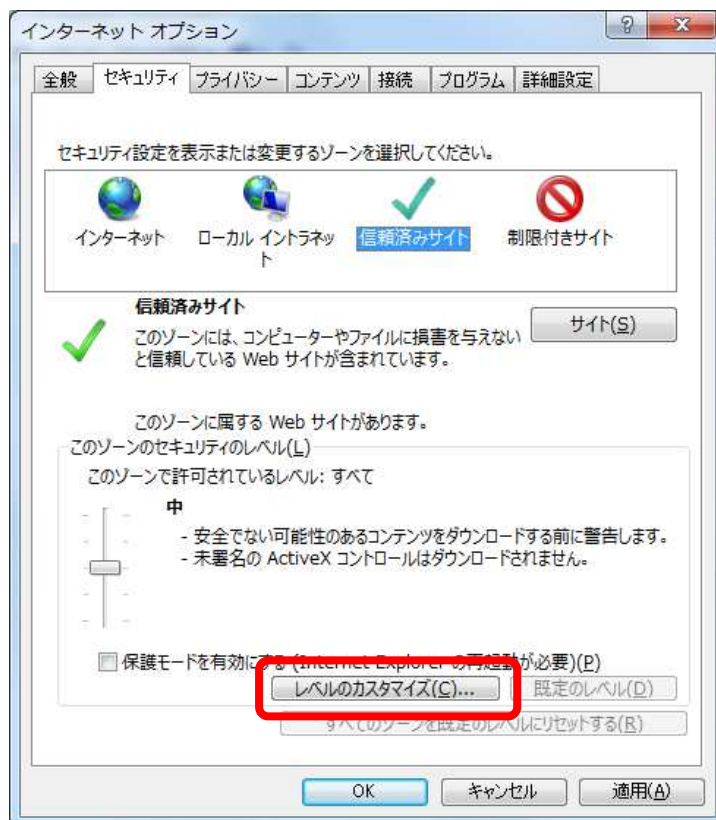
- ②「インターネットオプション(O)」をクリックします。



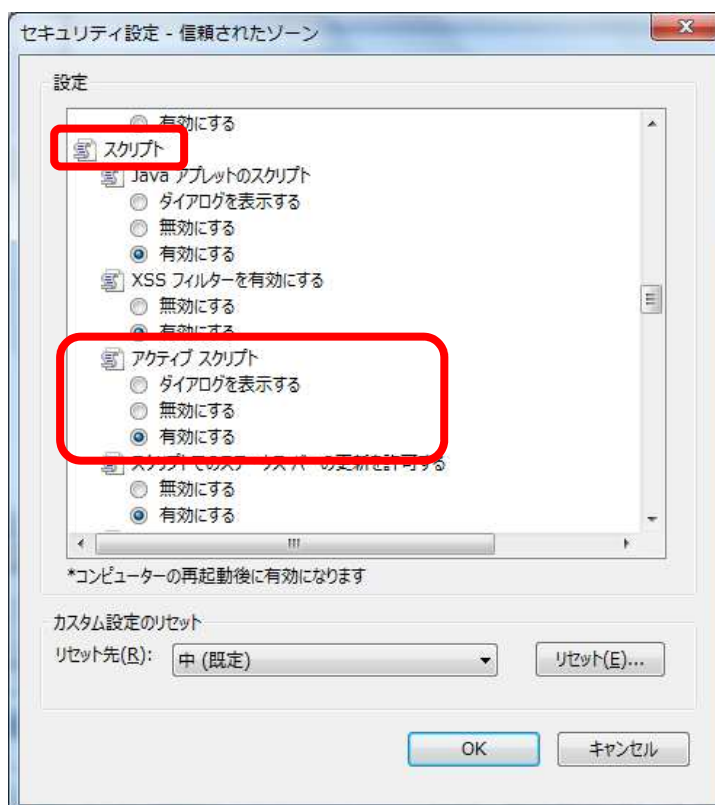
- ③「セキュリティ」タブをクリックします。



④ 「レベルのカスタマイズ(C)」 ボタンをクリックします。



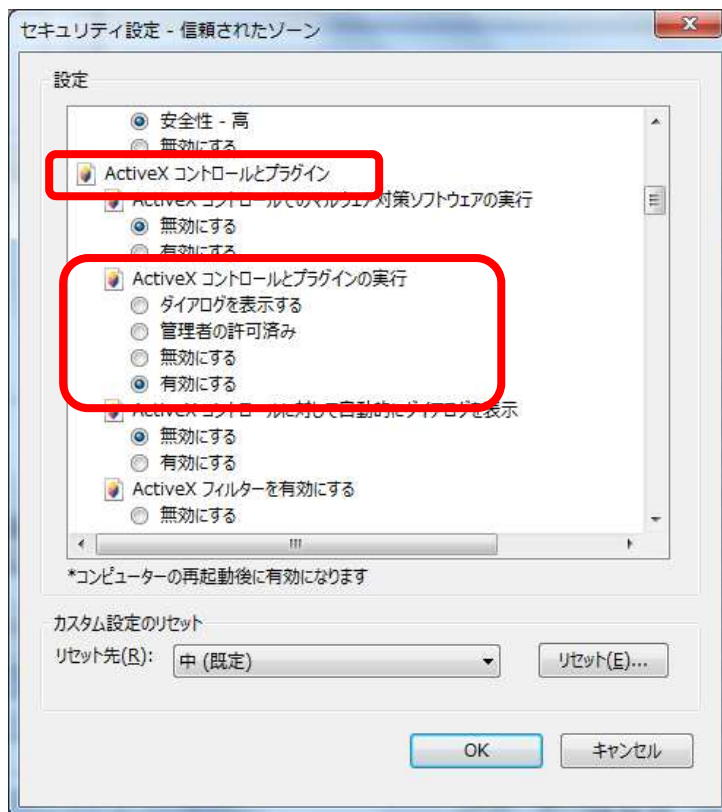
⑤ 「スクリプト」の「アクティブスクリプト」で、「有効にする」が選択されていることを確認します。  
選択されていない場合は、「有効にする」を選択してください。





⑥[ActiveX コントロールとプラグイン] - [ActiveX コントロールとプラグインの実行] で、「有効にする」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は、「有効にする」を選択してください。



⑦Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「2 電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

### C. NaRAClientControl のインストールウィンドウが表示されない

〔対処法〕 ポップアップブロックが機能しないよう、設定を変更します。

①本ガイド P44 の「9-3 ポップアップブロックを回避する方法」の「(1) Internet Explorer をご利用の場合」を参照し、設定を変更してください。

②Web ブラウザをすべて終了し、新たに起動した Web ブラウザで「2 電子証明書のインストール」の①の手順からやり直してください。

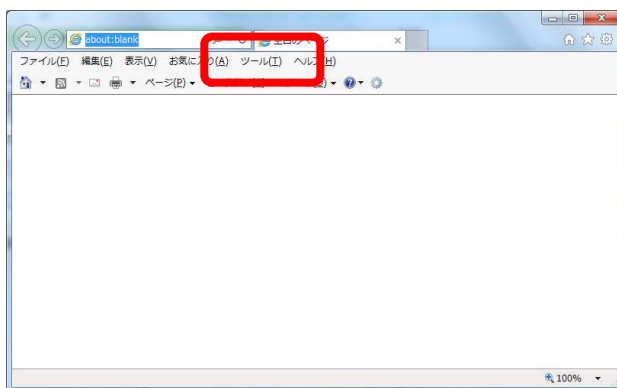
## 5 ブラウザの設定

ご利用のブラウザが、

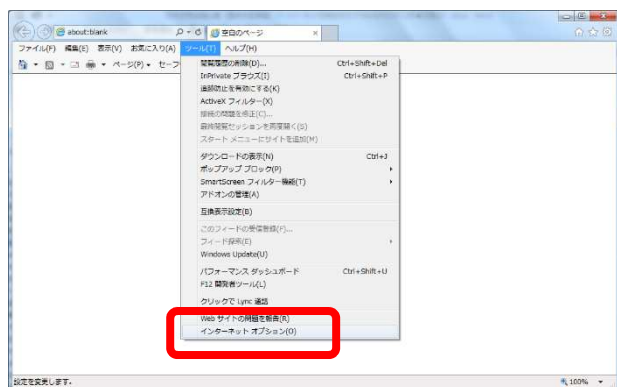
- ・Internet Explorer 8～11 の場合 … 以下の、(1) Internet Explorer 8～11 の設定から始めてください。
- ・Microsoft Edge の場合 … P23 の、(2) Microsoft Edge の設定から始めてください。

### (1) Internet Explorer 8～11 の設定

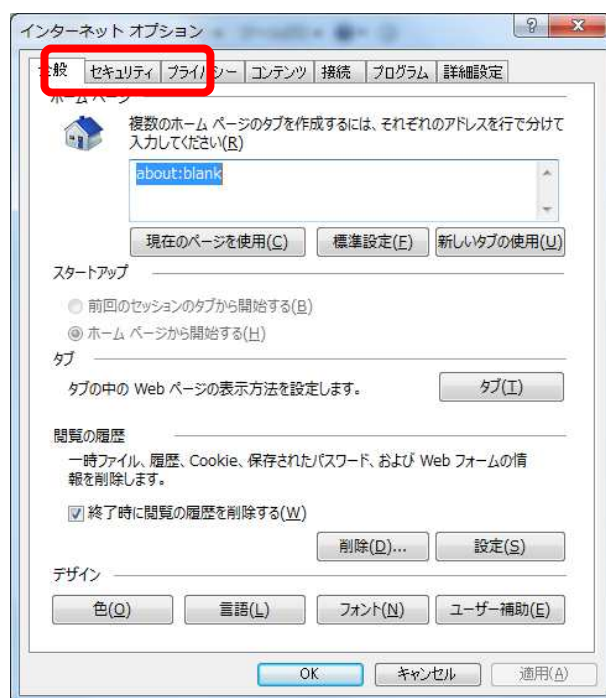
- ① Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」をクリックします。



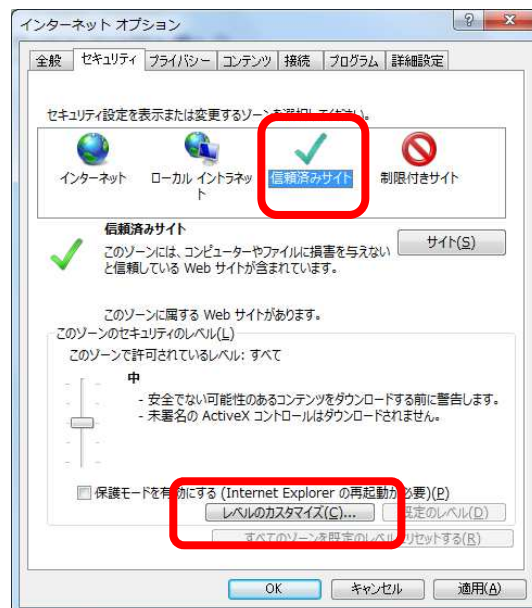
- ② 「インターネットオプション(O)」をクリックします。



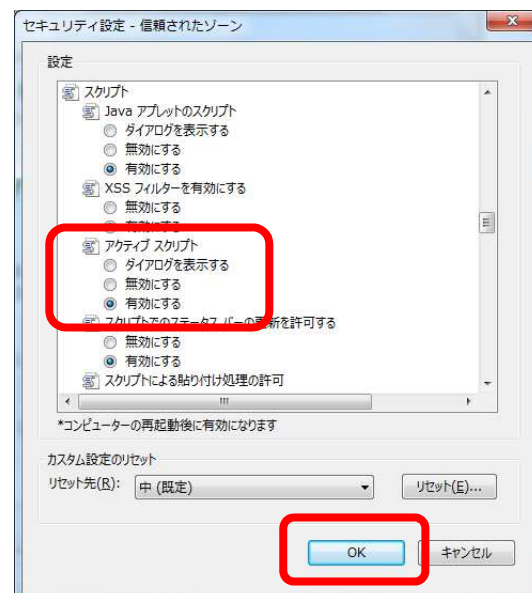
- ③ 「セキュリティ」タブをクリックします。



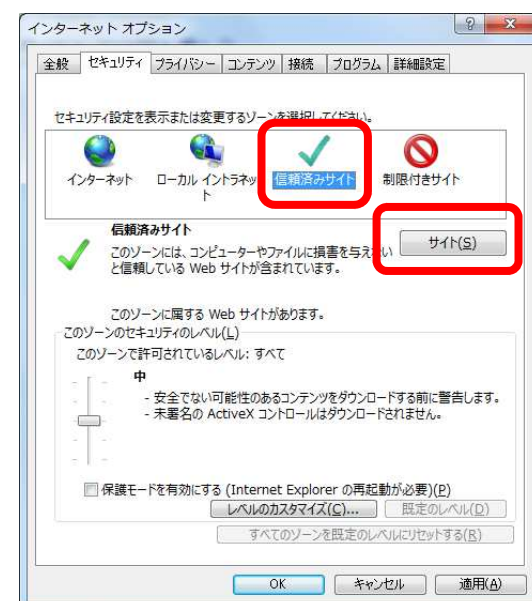
- ④ 「信頼済みサイト」を選択し、「レベルのカスタマイズ(C)」をクリックします。



- ⑤ 「アクティブスクリプト」の項目で、「有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

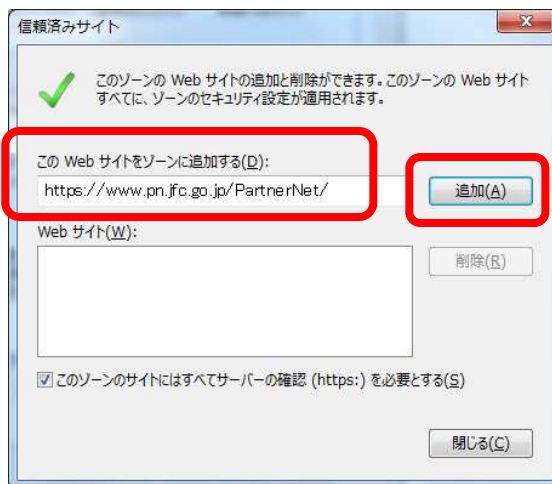


- ⑥ 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト(S)」ボタンをクリックします。



- ⑦ 「このwebサイトをゾーンに追加する(D)」に以下のURLを入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

**https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/**

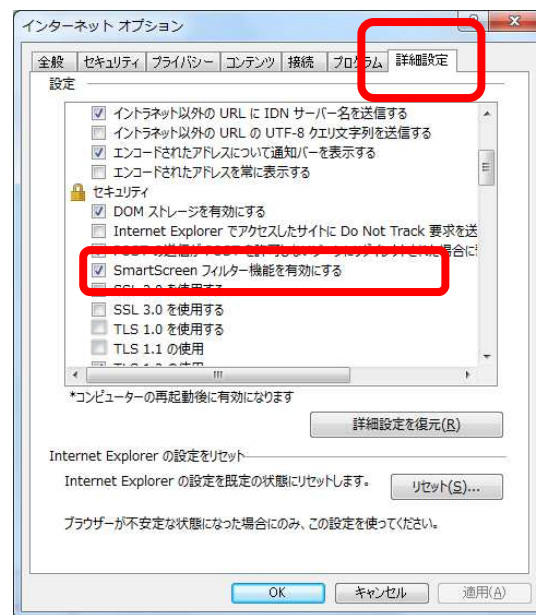


- ⑧ 「Web サイト」(W)に追加された URLを確認します。確認が完了したら、「閉じる(C)」ボタンをクリックします。



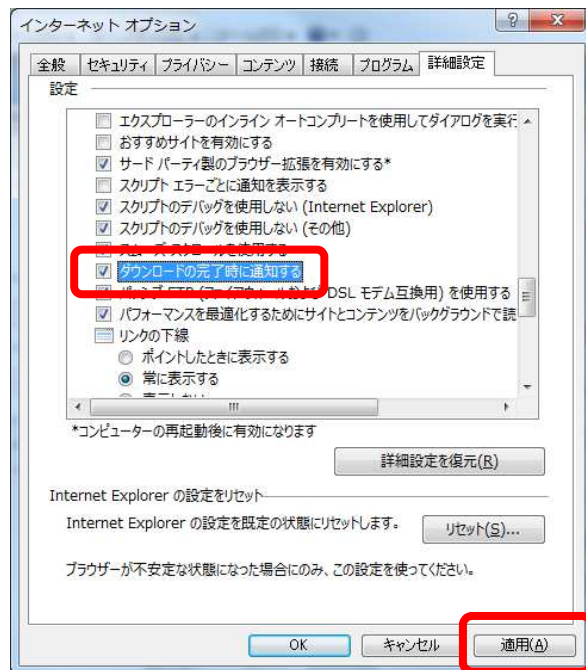
URLの一部が省略され、https://www.pn.jfc.go.jp と表示される場合がありますが、問題ありません。

- ⑨ 「詳細設定」タブをクリックし、「SmartScreen フィルター機能を有効にする」のチェックを外します。



「SmartScreen フィルター機能を有効にする」が表示されていない場合は、次の ⑩ へお進みください。

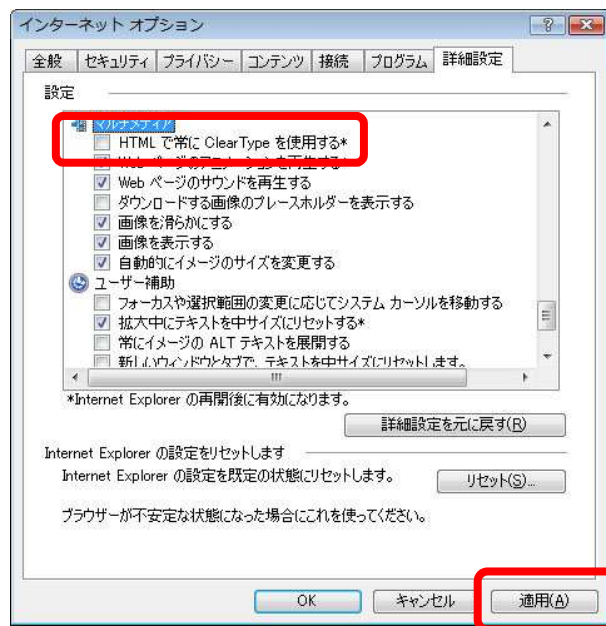
- ⑩ 「ダウンロードの完了時に通知する」に  
チェックを入れます。



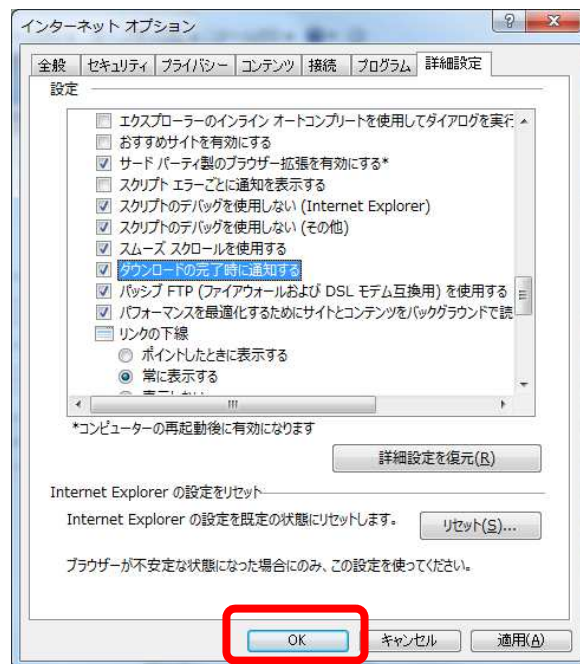
Internet Explorer 9 以降をご利用の場合 → 「適用(A)」ボタンをクリックし、⑩ へお進みください。  
Internet Explorer 8 をご利用の場合 → 次の ⑪ へお進みください。


- ⑪ (Internet Explorer 8 をご利用の  
場合のみ)

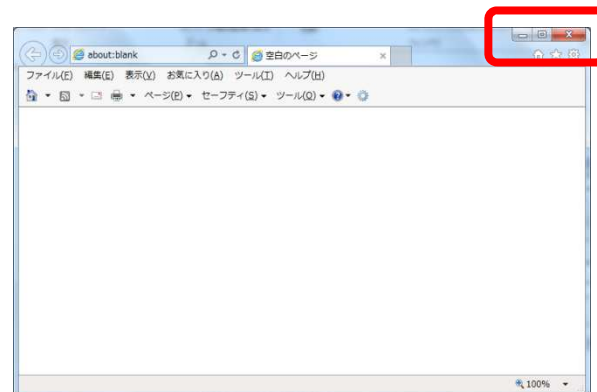
「HTML で常に Clear Type を使用する」の  
チェックを外します。  
続いて、「適用(A)」ボタンをクリックします。



- ⑫ 「OK」 ボタンをクリックし、インターネットオプションのウィンドウを閉じます。



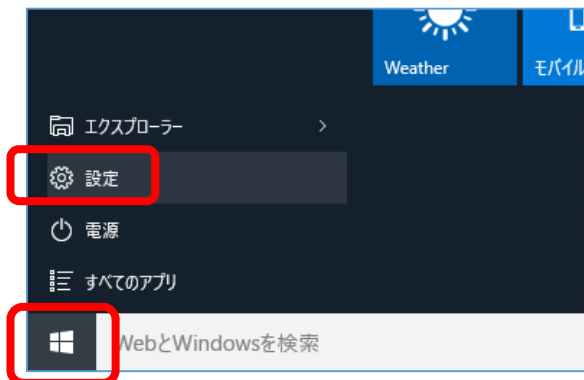
- ⑬ ウィンドウ右上の  ボタンをクリックして、いったんブラウザを終了してください。



以上でブラウザの初期設定は終了しました。  
続いて、パートナーネットの接続確認を行います。  
P27 の、「6 パートナーネットへの接続確認」へお進みください。

## (2) Microsoft Edge の設定

- ① デスクトップ左下のスタートボタン → 設定 の順に  
クリックし、設定画面を開きます。



- ② 「ネットワークとインターネット」をクリック  
します。



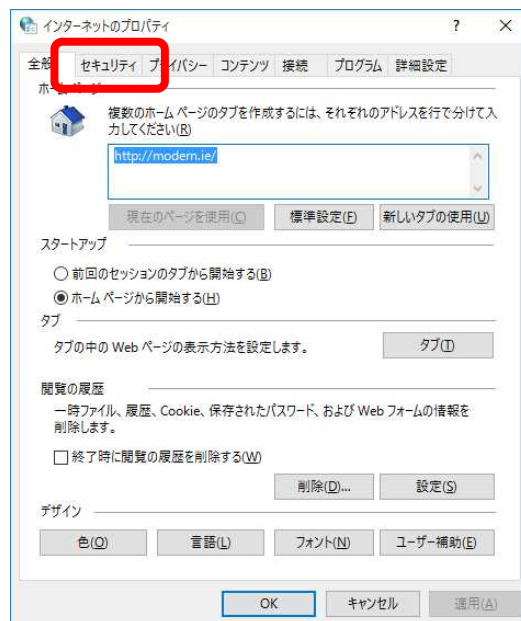
- ③ 「イーサネット」をクリックします。



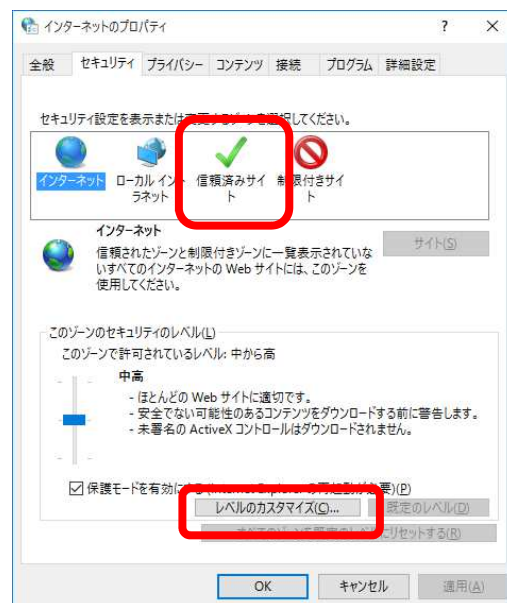
- ④ 関連設定の中の「インターネットオプション」を  
クリックします。



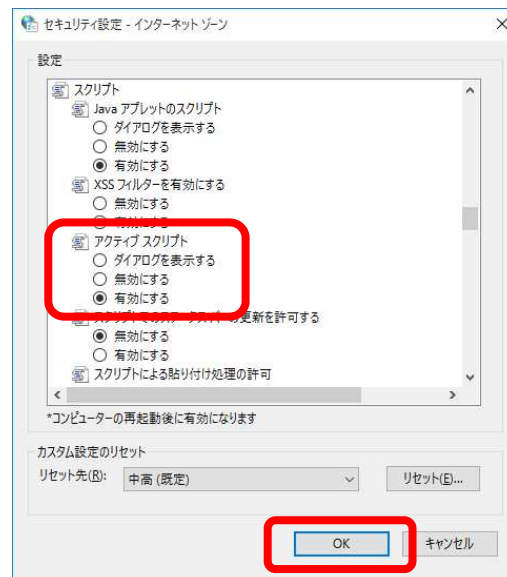
⑤ 「セキュリティ」タブをクリックします。



⑥ 「信頼済みサイト」を選択し、「レベルのカスタマイズ(C)」をクリックします。

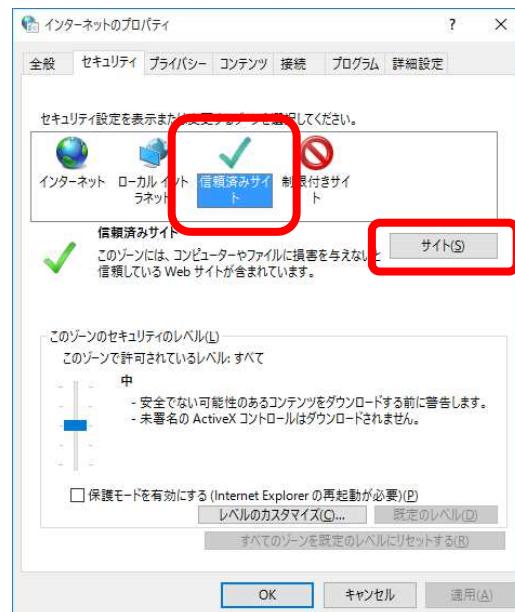


⑦ 「アクティブスクリプト」の項目で、「有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



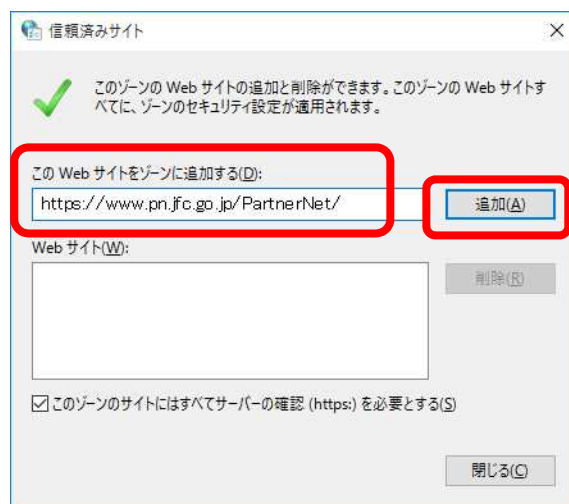


- ⑧ 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト (S)」ボタンをクリックします。

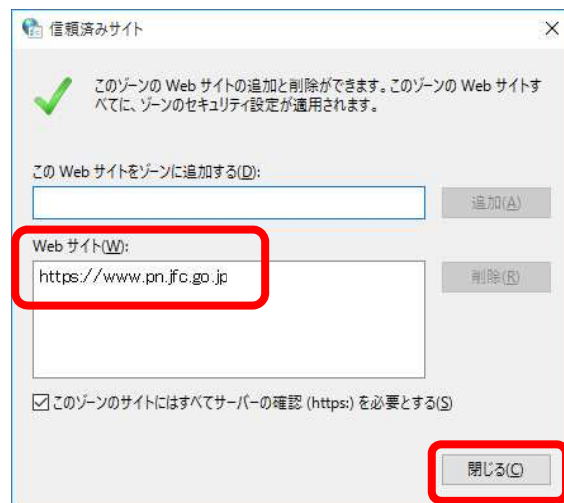


- ⑨ 「この Web サイトをゾーンに追加する(D)」に以下の URL を入力し、「追加 (A)」ボタンをクリックします。

<https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/>

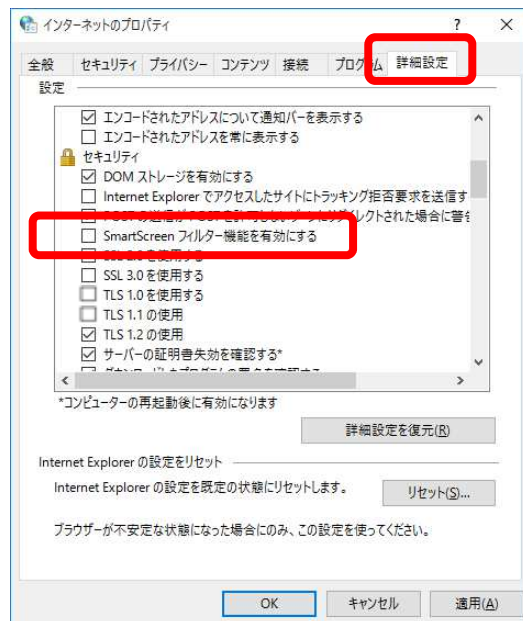


- ⑩ 「Web サイト(W)」に追加された URL を確認します。確認が完了したら、「閉じる (C)」ボタンをクリックします。

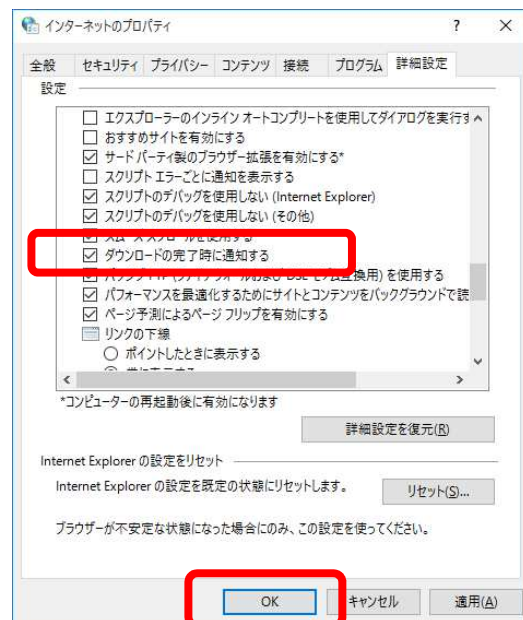



URL の一部が省略され、https://www.pn.jfc.go.jp と表示される場合がありますが、問題ありません。

- ⑪ 「詳細設定」タブをクリックし、「SmartScreen  
フィルター機能を有効にする」のチェックを  
外します。



- ⑫ 「ダウンロードの完了時に通知する」にチェックを  
入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑬ ウィンドウ右上の  ボタンをクリックして、  
いったん設定画面を閉じます。



以上でブラウザの初期設定は終了しました。  
続いて、パートナーネットの接続確認を行います。  
次ページの、「6 パートナーネットへの接続確認」へお進みください。

## 6 パートナーネットへの接続確認

### (1) ブラウザの立ち上げ(インターネットへの接続)

パソコンのブラウザを立ち上げ、インターネットに接続します。



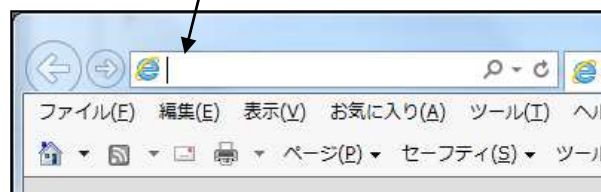
接続方法は、それぞれ環境によって異なります。詳細についてはお使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。

### (2) パートナーネットログオン画面への接続

以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、Enterキーを押下します。

<https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/>

URLを入力し、ログオン画面に接続します。

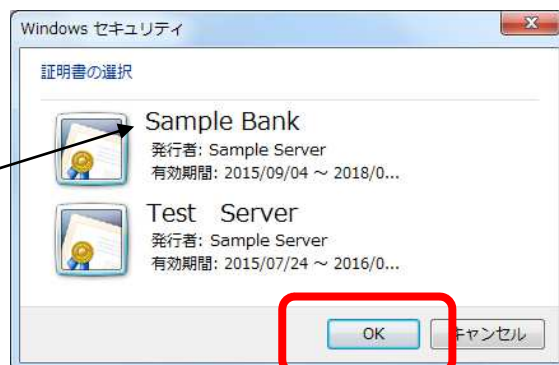


※お気に入りに登録しておくことによって、都度のアドレス入力が必要なくなります。登録方法については、本ガイド P39 の「9-2 お気に入りの登録」を参照してください。  
なお、稀なケースですが、ご利用されているパソコンの設定により、登録したお気に入りからの接続が出来ない場合があります。この場合は、お手数ですが、上記URLをブラウザのアドレス欄に入力してください。

### (3) 電子証明書の選択

電子証明書の選択画面が表示されますので、証明書(金融機関ごとに名前は異なります)を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザIDが表示された証明書を選択します。



※電子証明書の選択画面の表示を省略することができます。省略する方法については、本ガイド P34 の「9-1 証明書選択を表示させないブラウザの設定」を参照してください。

#### (4) ログオン画面の表示

ログオン画面が表示されます。

事前に郵送された「ユーザID」及び初期パスワードを入力し、「ログオン」ボタンをクリックします。



ログオン画面が表示されない(画面が一瞬表示されてすぐに消える)場合は、本ガイドP44の「9-3 ポップアップブロックを回避する方法」を参照してください。

ログオン画面をブラウザの「お気に入り」に登録し、そこからログオン画面を呼び出すことによってポップアップブロックを回避できる場合があります。登録方法については、本ガイドP39の「9-2 お気に入りの登録」を参照してください。

#### (5) パスワード変更画面の表示

初回ログオン時にパスワード変更画面が表示されます。

##### ① パスワード変更画面の表示

「古いパスワード」の欄に「公庫よりお知らせした初期パスワード」を入力します。

「新しいパスワード」及び「パスワードの確認」の欄に、「新規パスワード（8文字以上の英数字及び記号）」を入力し、「更新」ボタンをクリックします。



パスワードには、以下の文字種が使用できます。

アルファベット大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
アルファベット小文字	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号	! \$ % & ' ( ) * + , / ; < = > ? [ ] ^ { } ~

パスワードを変更してから90日を経過後にログオンした時も、パスワード変更画面が表示されます。その場合は、「古いパスワード」の欄には「現行パスワード」を入力してください。

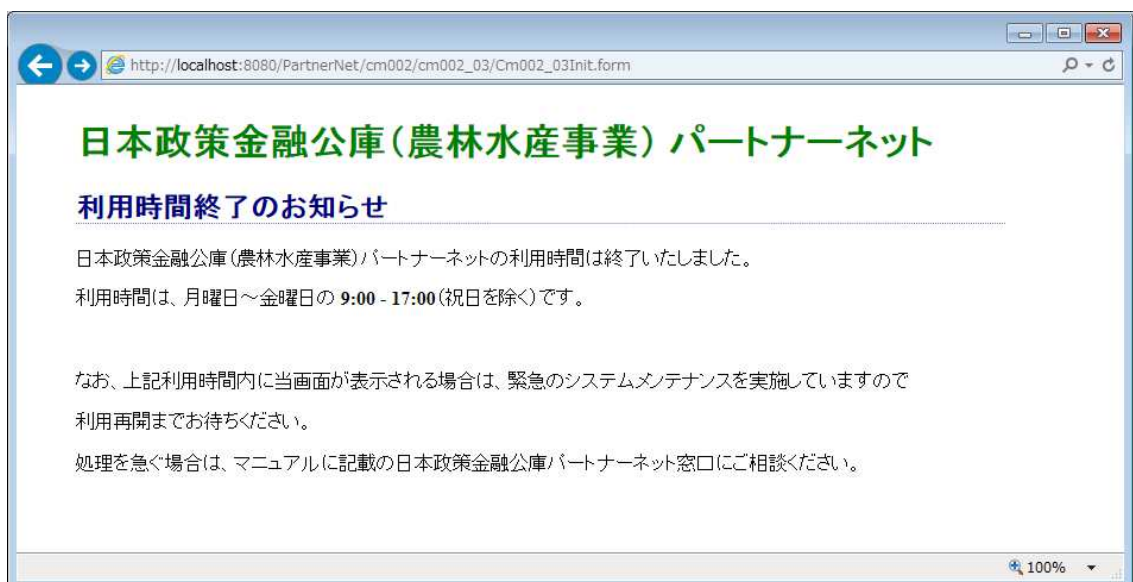
## ② 接続の確認

次のいずれかの画面が表示されましたら、接続完了です。

(公庫営業日の9:00~17:00に接続した場合)



(上記以外の時間帯に接続した場合)



## 7 ログアウト及びブラウザの終了

### (1) ログアウトする

画面左上に表示されている「ログアウト」ボタンをクリックします。



### (2) セッション終了画面の表示

「セッションを終了しました」と表示のある画面が表示されましたらログアウト完了です。もう一度ログオンしたい場合は、「ここをクリック」をクリックするとログオン画面に移動します。



### (3) ブラウザの終了

ウィンドウ右上の $\times$ ボタンをクリックして、ブラウザを終了してください。



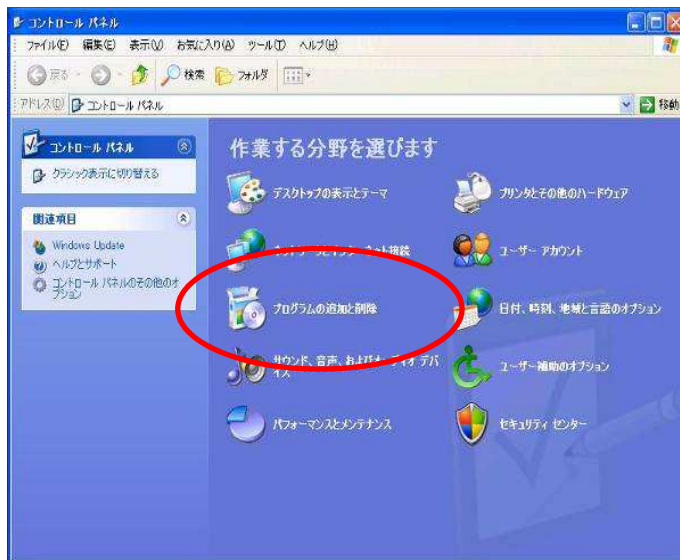
## 8 (参考) 旧ソフトウェアの削除

ご利用のパソコンに、パートナーネットの旧ソフトウェア（2011年7月以前の旧接続形式を使用していたソフトウェア）が残存している場合は、以下の手順で削除することができます。

### (1) プログラムの削除

旧システム用のプログラムを削除します。

- ①「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開きます。



- ②プログラムの追加と削除画面が開きます。



- ③以下の順でプログラムを削除してください。

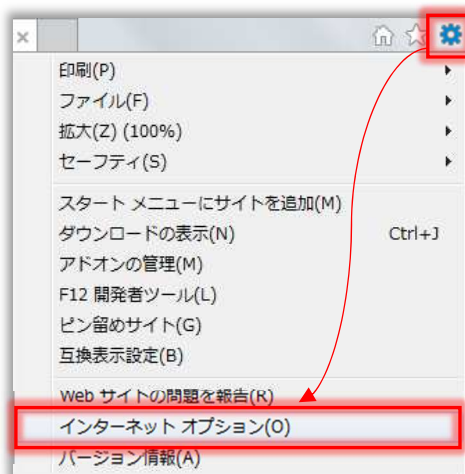
1. MSOLOCK PRO
2. Rainbow iKey Components
3. Rainbow iKey Driver
4. 電子署名検証ツール Sign Verifier
5. Juniper Networks Host Checker
6. Juniper Networks Network Connect
7. Installer Service

## (2) 電子証明書の削除

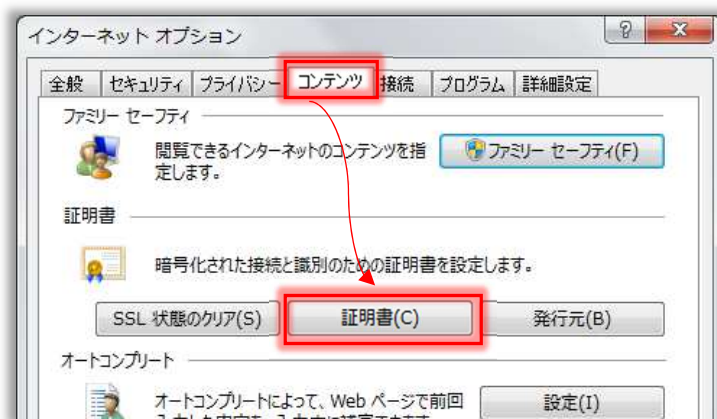
続いて、旧システム用の電子証明書を削除します。

- ・ 一度削除した電子証明書は元に戻せませんのでご注意ください。
- ・ 旧システムの電子証明書をクライアント PC にインストールしていない場合、この作業は不要です。

① Web ブラウザ (Internet Explorer) の右上にあるツール (歯車マーク) をクリックし、インターネット オプションを選択します。



② 「コンテンツ」タブを選択し、証明書ボタンをクリックします。

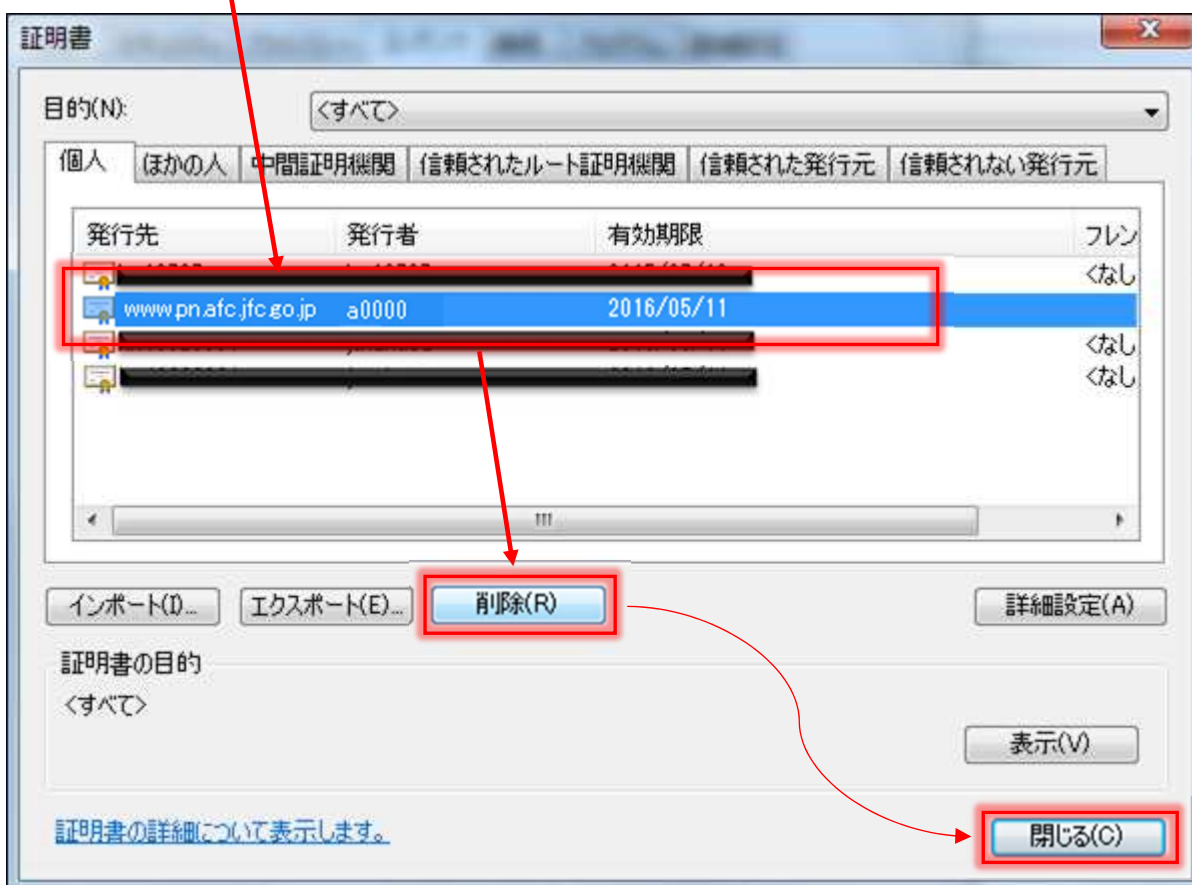




- ③旧パートナーネットシステムで利用していた電子証明書を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。その後、「閉じる (C)」ボタンをクリックしてください。

パートナーネットシステムを利用しているパソコンに、共同利用している他金融機関等の電子証明書がインストールされている場合は、誤ってそれらを選択・削除することのないよう「発行先」「発行者」をよくご確認ください。

発行先: `www.pn.afc.jfc.go.jp`  
発行者: 英文字+貴金融機関コード

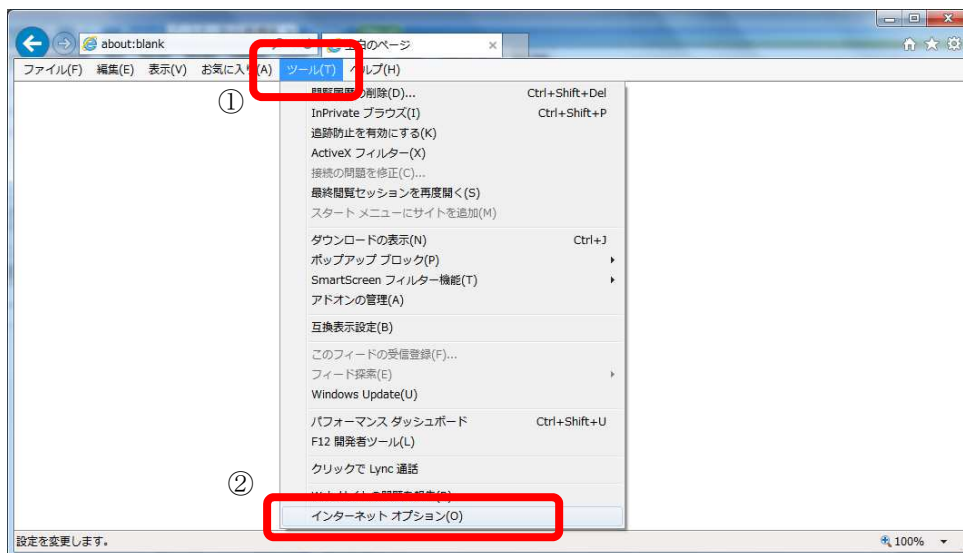


## 9 添付資料

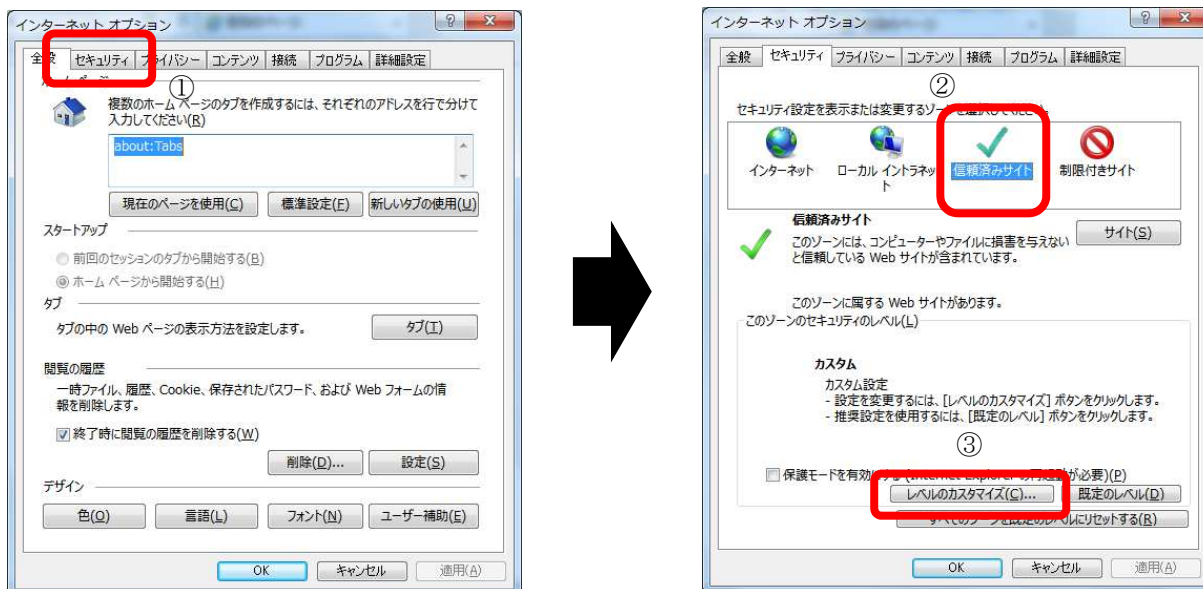
### 9-1 証明書選択を表示させないブラウザの設定

#### (1) Internet Explorer をご利用の場合

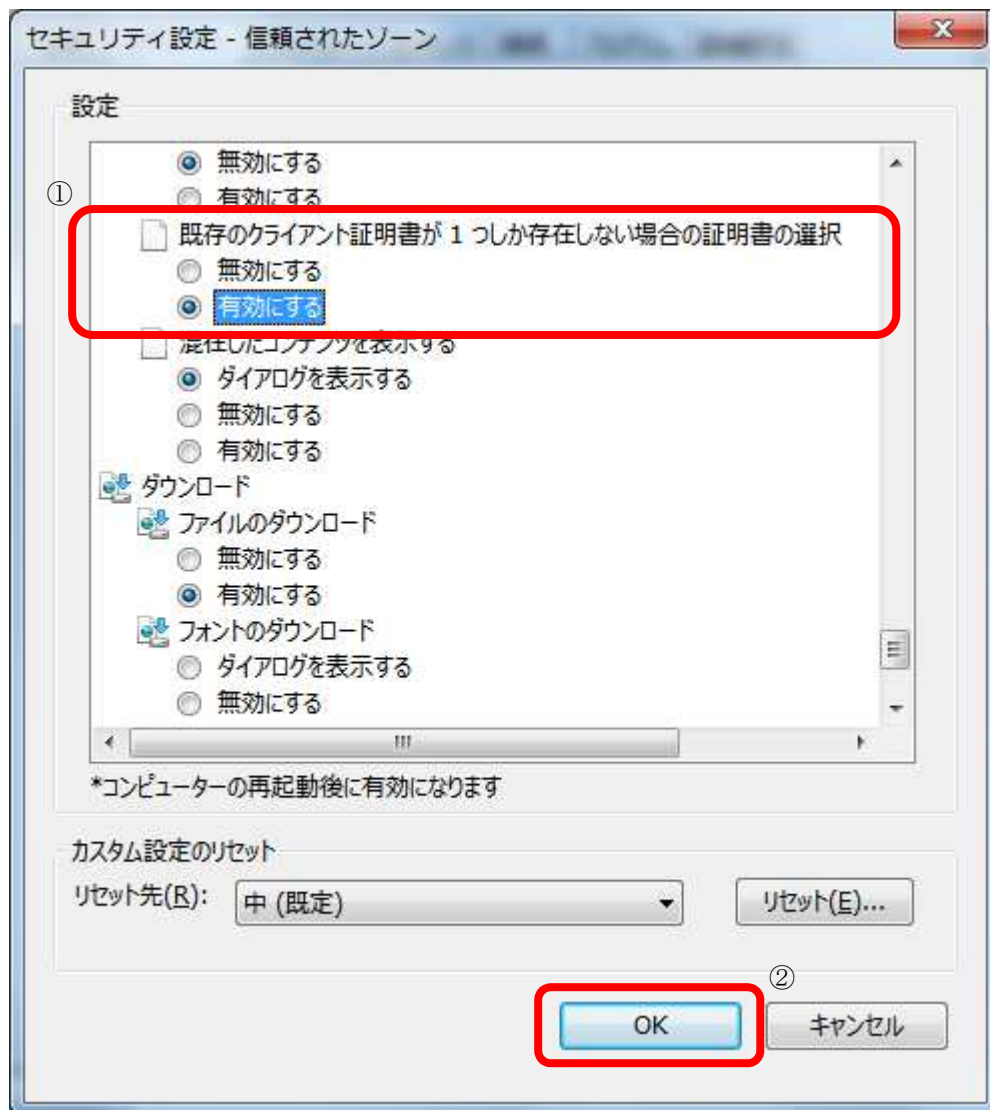
①Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール(T)」→「インターネットオプション(O)」の順にクリックします。



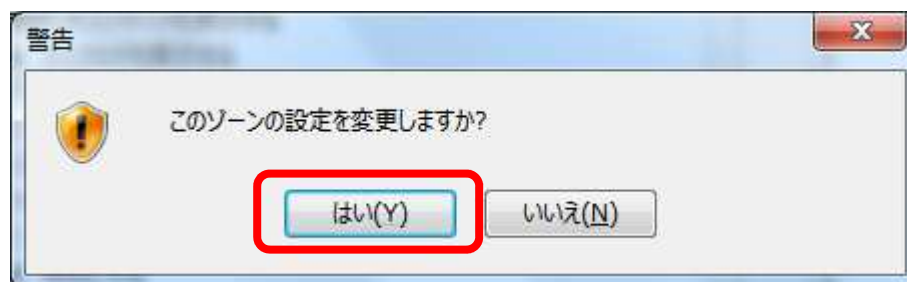
②「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」を選択し、「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。



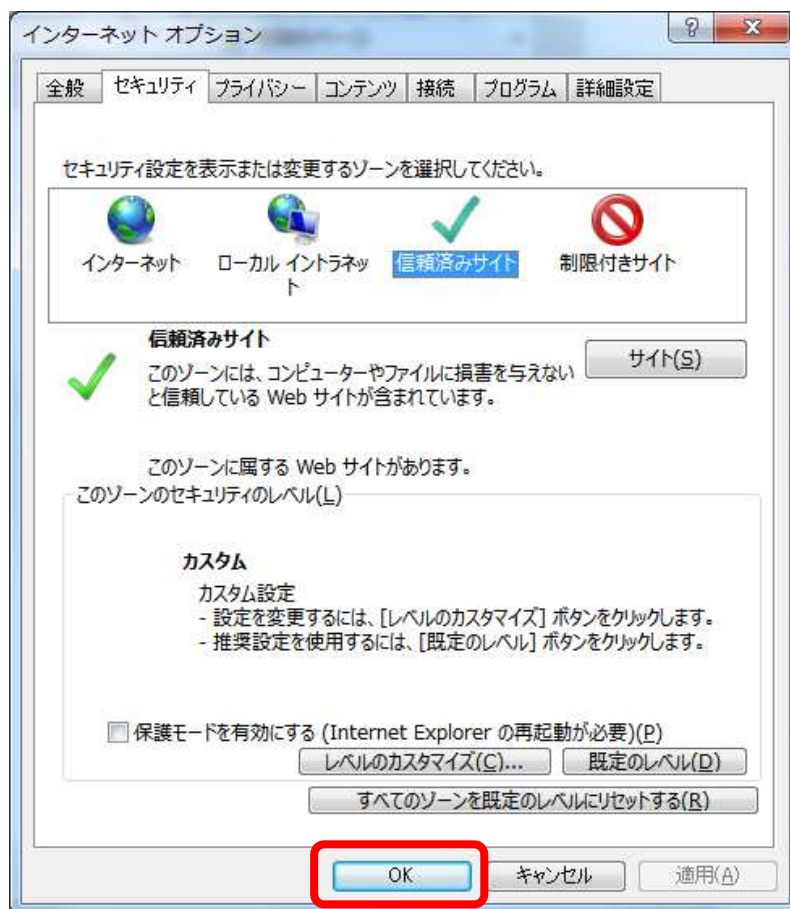
- ③ 「既存のクライアント証明書が1つしか存在しない場合の証明書の選択」項目で、「有効にする」を選択し、「OK」をクリックします。



- ④ ゾーンの設定変更確認が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



⑤ 「OK」 をクリックして、インターネットオプションの画面を閉じます。

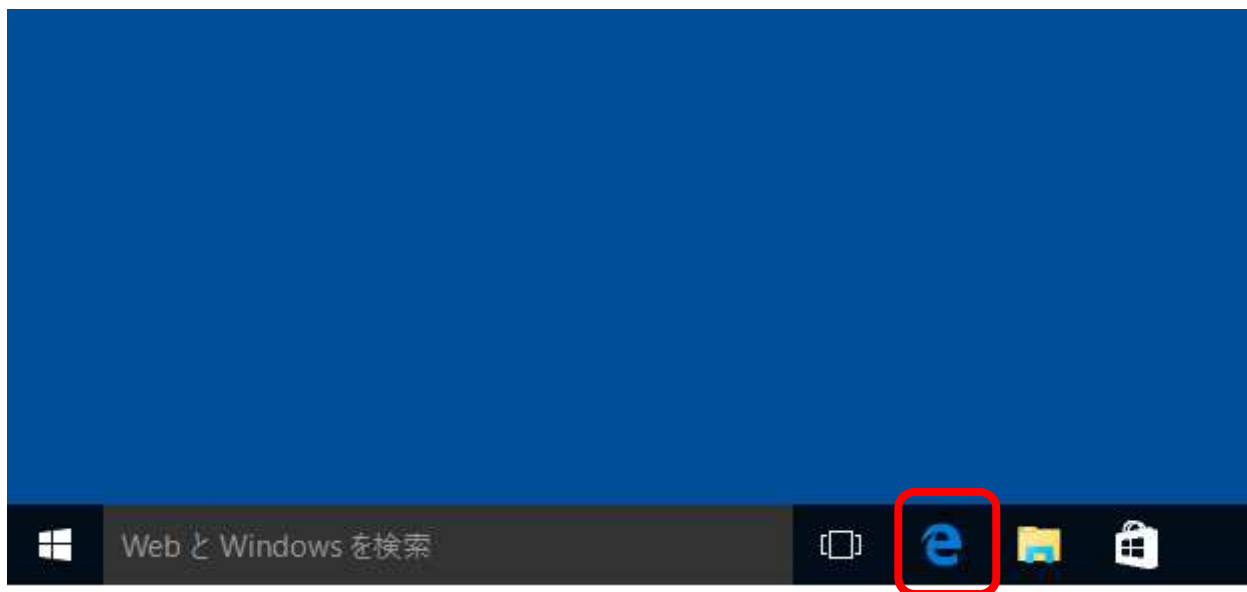


⑥ パートナーネットのサイト（ <https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/> ）にアクセスし、証明書の確認が表示されないことを確認してください。



## (2) Microsoft Edge をご利用の場合

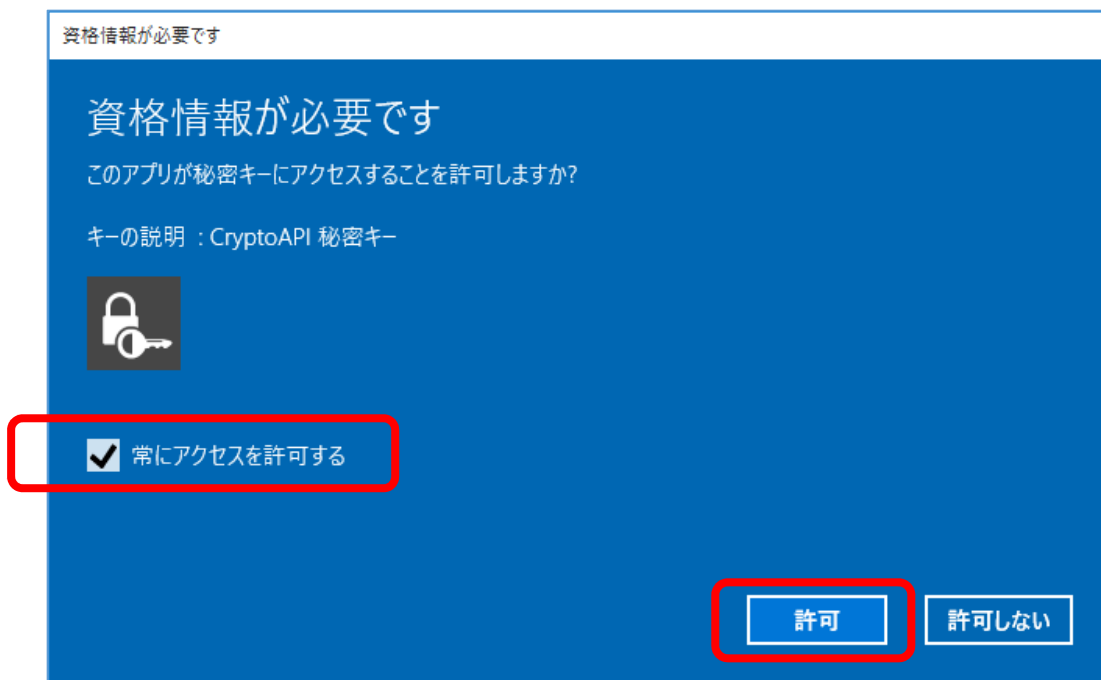
①デスクトップから Microsoft Edge を選択し、起動します。



②開始画面から「 https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/ 」を入力し、「→」 ボタンをクリックしてください。



③ 「常にアクセスを許可する」にチェックを付け、「許可」をクリックします。



④ パートナーネットのログオン画面が表示されましたら、設定完了です。



## 9-2 お気に入りの登録

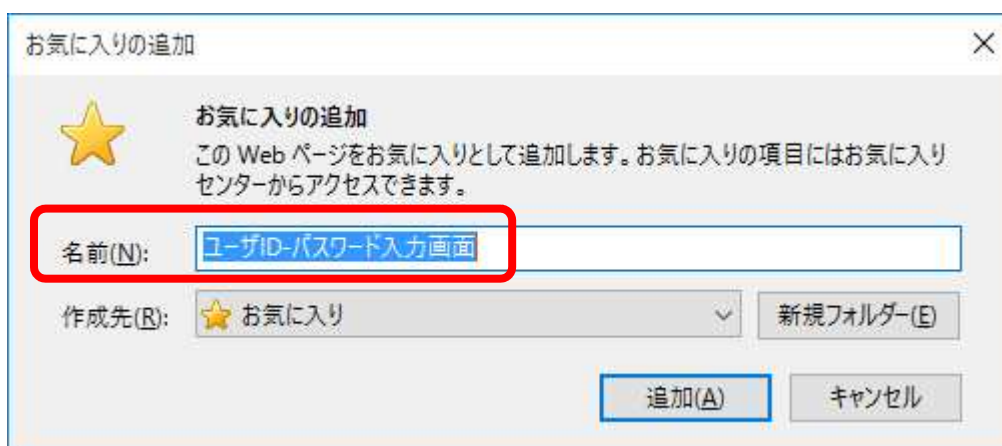
### (1) Internet Explorer をご利用の場合

(画面は Internet Explorer 11 の場合です。)

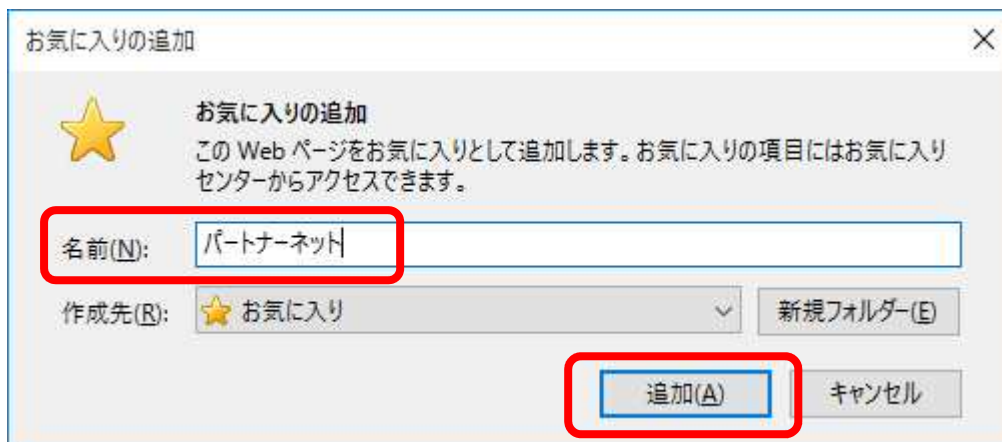
- ①パートナーネットのログオン画面が表示されている状態で、「お気に入り(A)」→「お気に入りに追加(A)」の順にクリックします。



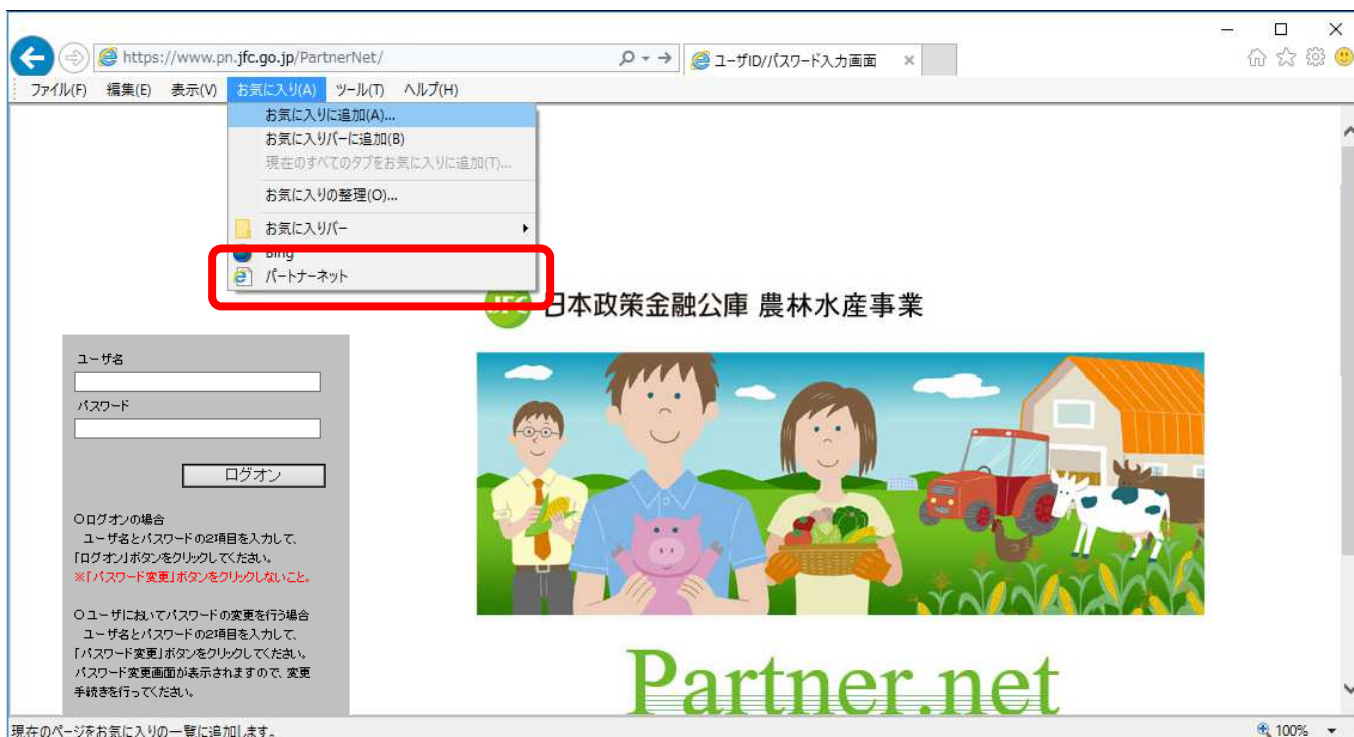
- ②「名前(N)」に、「ユーザ ID-パスワード入力画面」が表示されていることを確認します。



- ③ 「名前(N)」欄を任意の名称（下図の例では「パートナーネット」）に変更し、「OK」ボタンをクリックします。



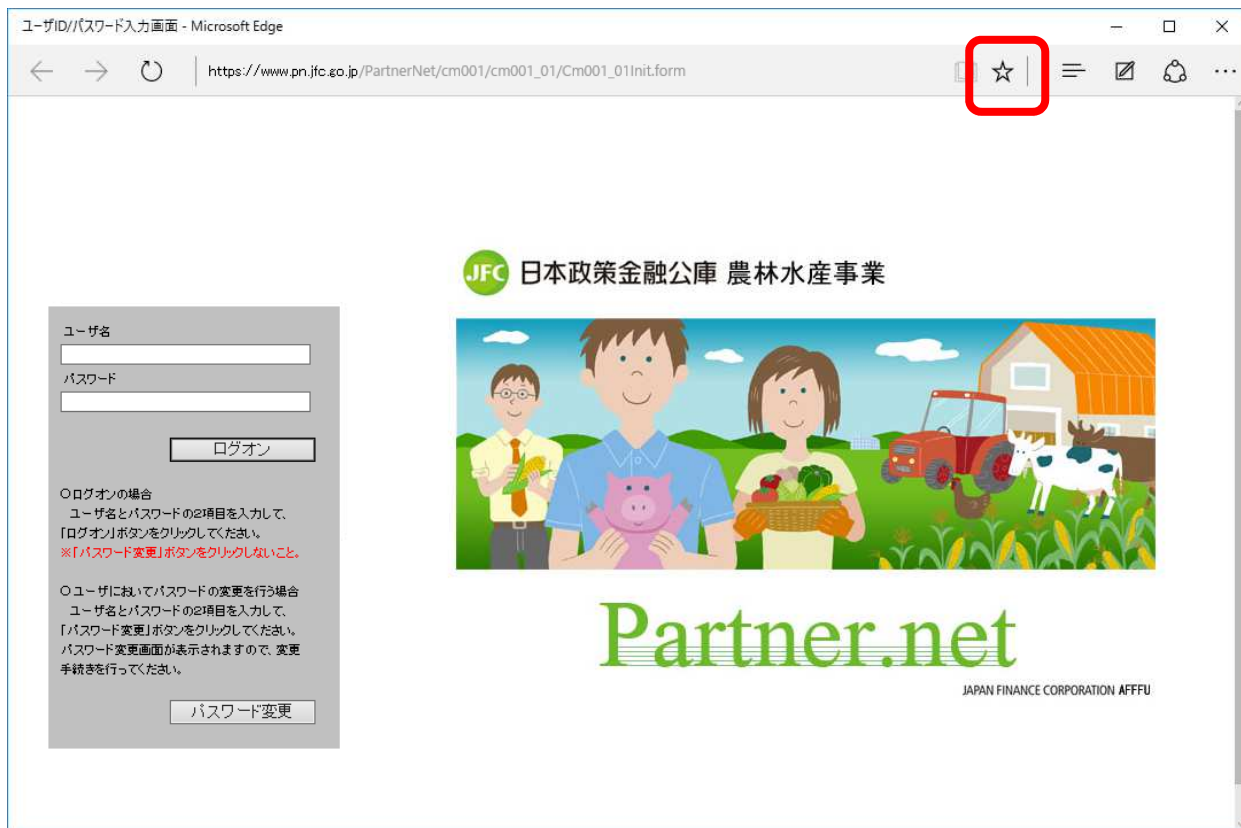
- ④メニューバーの「お気に入り(A)」を選択し、③で入力した名称がお気に入りに登録されたことを確認します。





## (2) Microsoft Edge をご利用の場合

- ①パートナーネットのログイン画面が表示されている状態で、アドレス欄右の「☆」(星型)のボタンをクリックします。



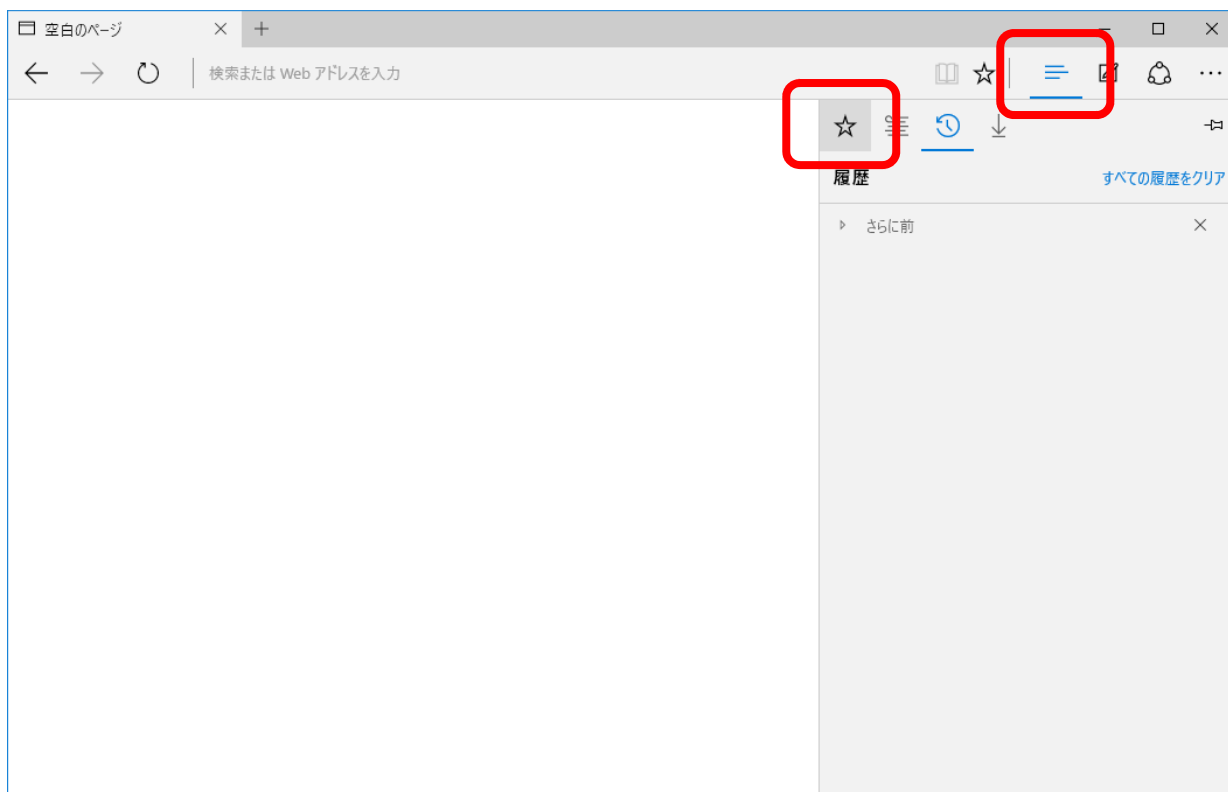
- ②「名前」に「ユーザ ID-パスワード入力画面」が表示されていることを確認します。



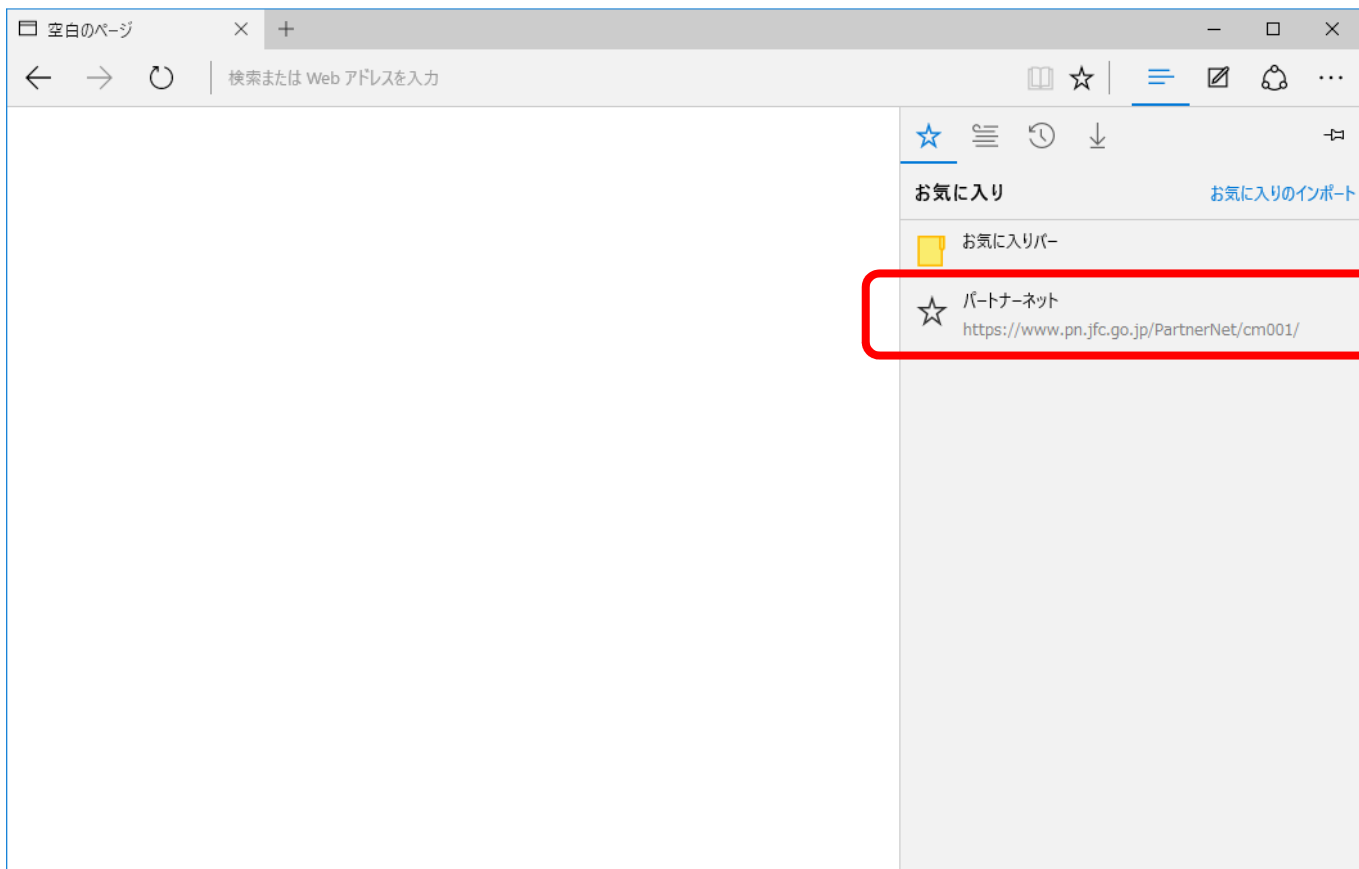
- ③ 「名前(N)」欄を任意の名称（下図の例では「パートナーネット」）に変更し、「追加」ボタンをクリックします。



- ④ 「ハブ」のボタン（3本の横棒）→「☆」（星型）のボタンの順にクリックします。



⑤ 「お気に入り」リストが表示されるので、③で入力した名称がお気に入りに登録されたことを確認します。



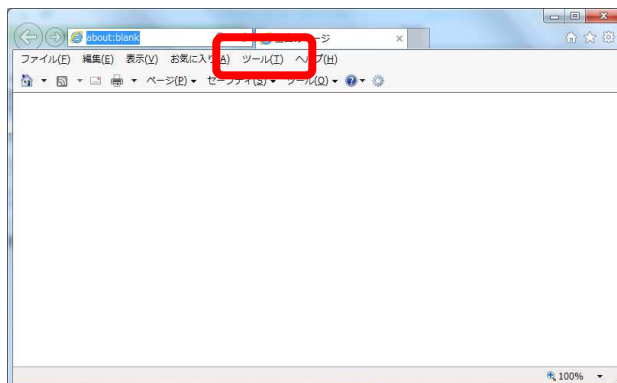
### 9-3 ポップアップブロックを回避する方法

Internet Explorer には、Web サイトにアクセスした際に、通常のウィンドウとは別に勝手に開かれる広告やお知らせなどの小さなウィンドウを表示しないようにする、「ポップアップブロック」という機能がありますが、この機能が有効になっていると、パートナーネットが作成するウィンドウまで表示されなくなる場合があります。

ここでは、パートナーネットをポップアップブロックの対象から除外する方法を説明します。

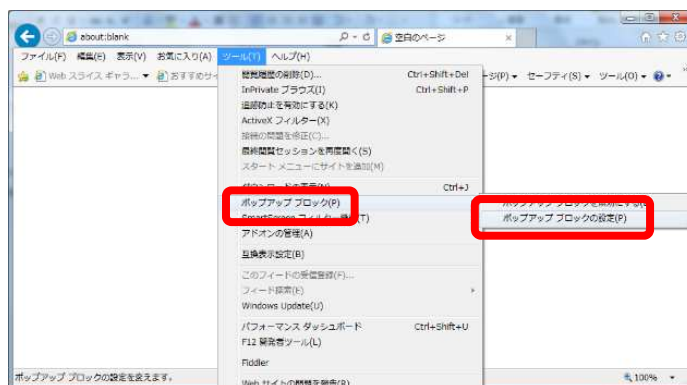
#### (1) Internet Explorer をご利用の場合

- ①Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」をクリックします。



・Windows10 での IE11 の起動方法は、P50 の「9-4 Windows10 での Internet Explorer 11 の起動方法」を参照してください。

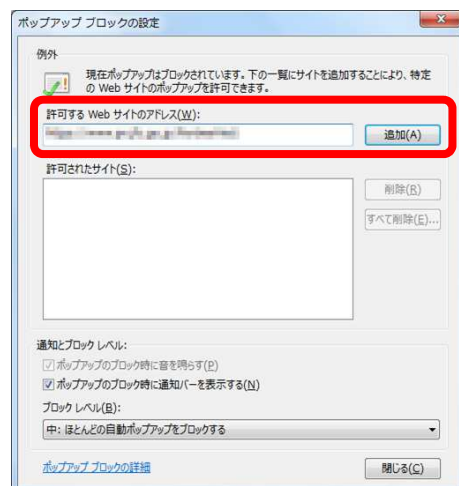
- ② 「ポップアップブロック(P)」 → 「ポップアップブロックの設定(P)」の順にクリックします。



- ③ 「許可する Web サイトのアドレス(W)」欄に、以下の URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

電子証明書インストール用接続先 URL

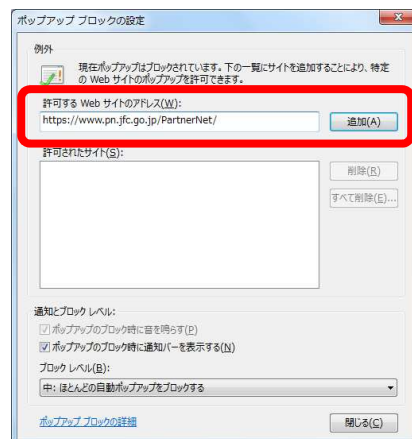
**本ガイド P4 「3 電子証明書のインストール」  
の①を参照**



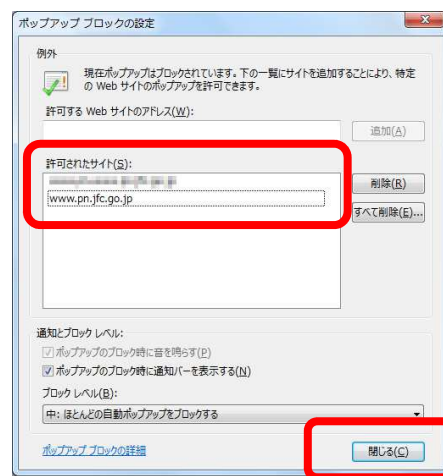
- ④ 「許可する Web サイトのアドレス(W)」欄に、以下の URL を入力し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

パートナーネットへの接続用 URL


**https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/**

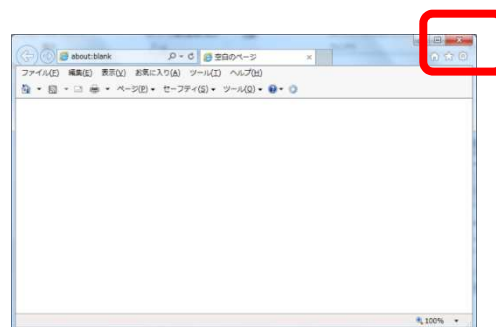


- ⑤ 「許可されたサイト(S)」欄に、③・④で追加した URL が表示されていることを確認します。  
確認が完了したら、「閉じる(C)」ボタンをクリックします。



URL の一部が省略され、www.pn.jfc.go.jp のように表示される場合がありますが、問題ありません。

- ⑥ ウィンドウ右上の  ボタンをクリックして、ブラウザを終了してください。



- ⑥ 新しく Internet Explorer を起動後に以下の操作を行い、正しくウィンドウが表示されることを確認してください。

・ 電子証明書のインストールを行う場合：

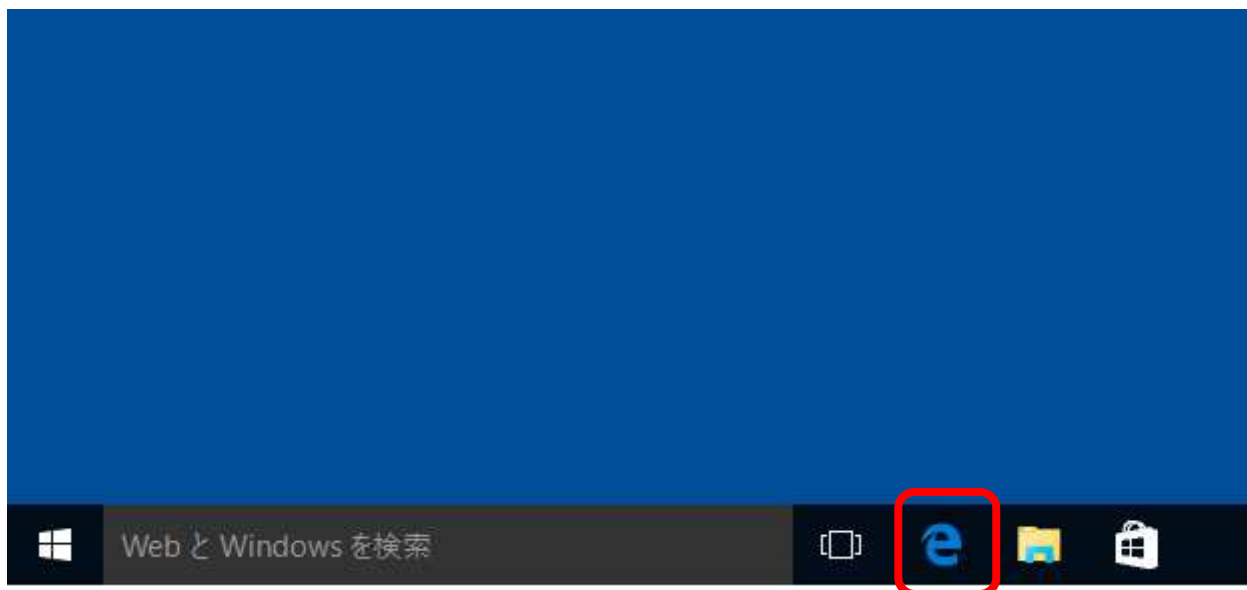
本ガイド P4 「3 電子証明書のインストール」の手順を実行。

・ パートナーネットへ接続する場合：

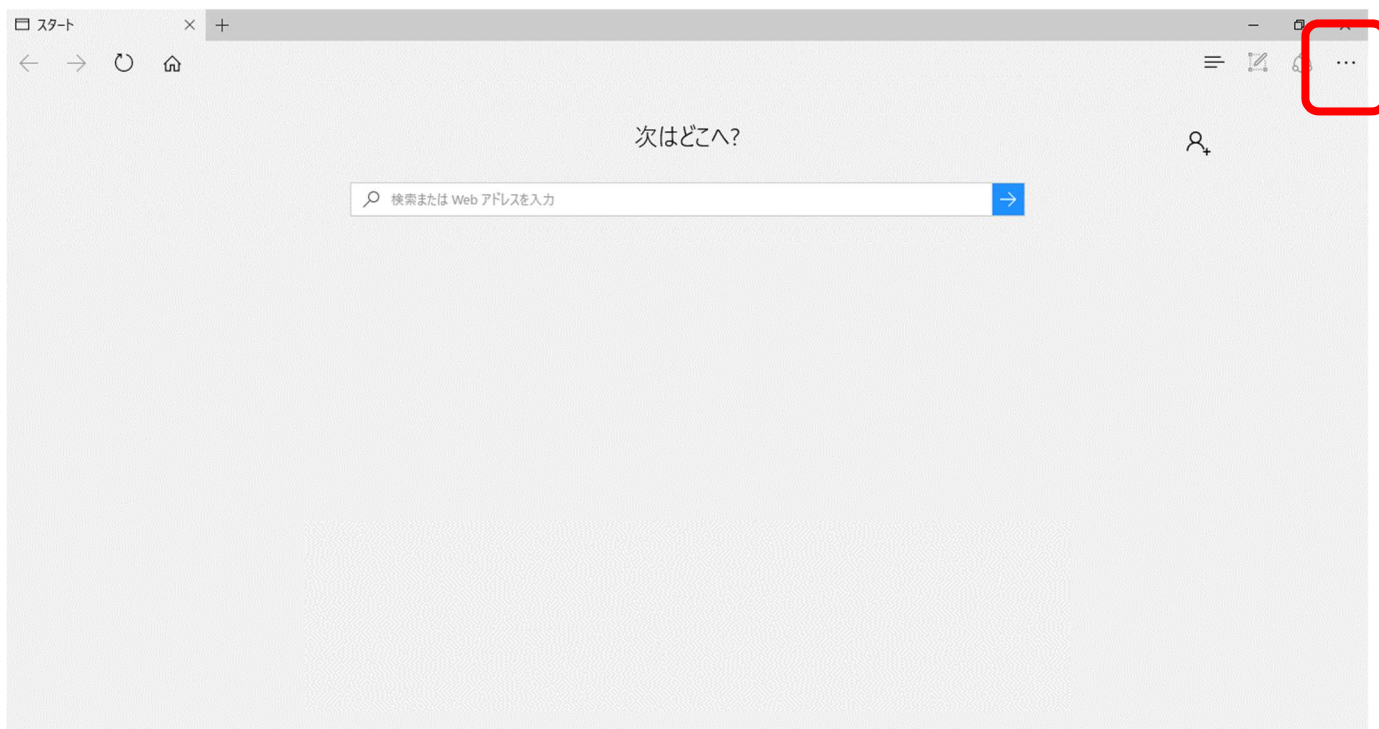
本ガイド P27～28 「6 パートナーネットへの接続確認」の、「(1) ブラウザの立ち上げ (インターネットへの接続)」から「(4) ログオン画面の表示」までの手順を実行。

## (2) Microsoft Edge をご利用の場合

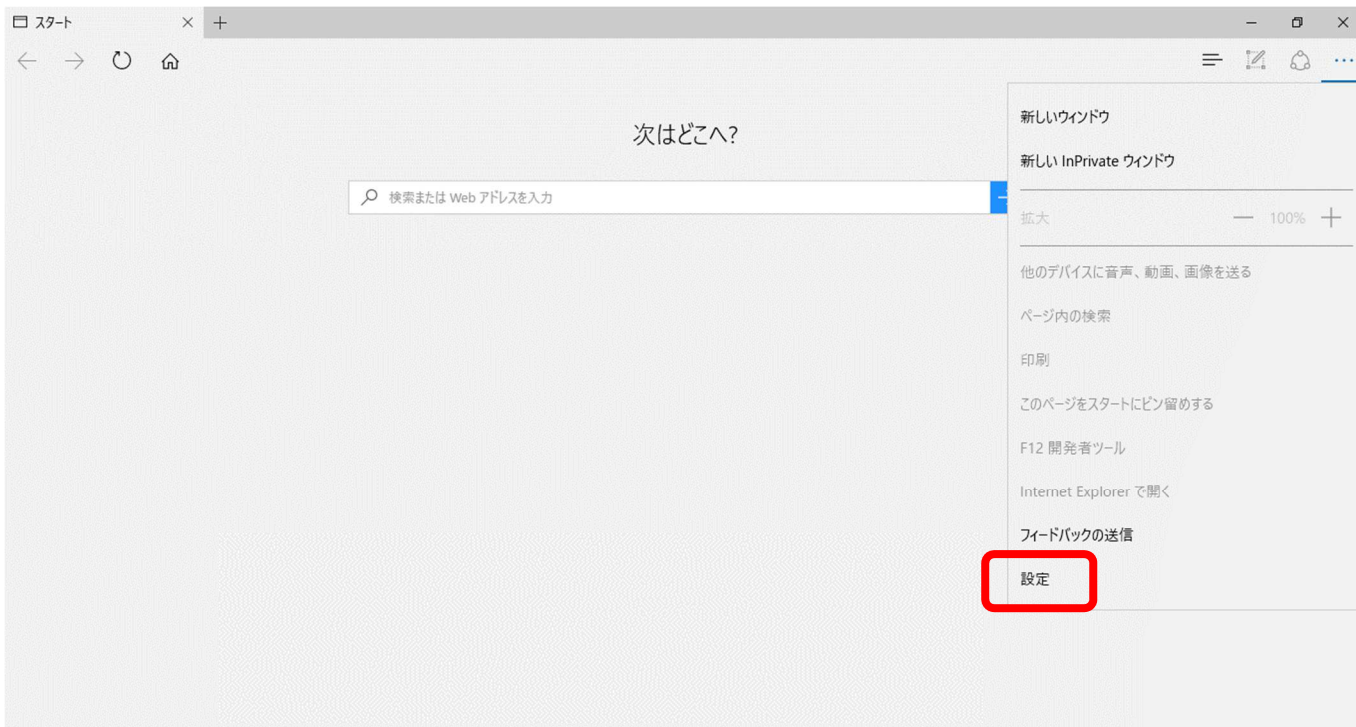
① デスクトップから Microsoft Edge を選択し、起動します。



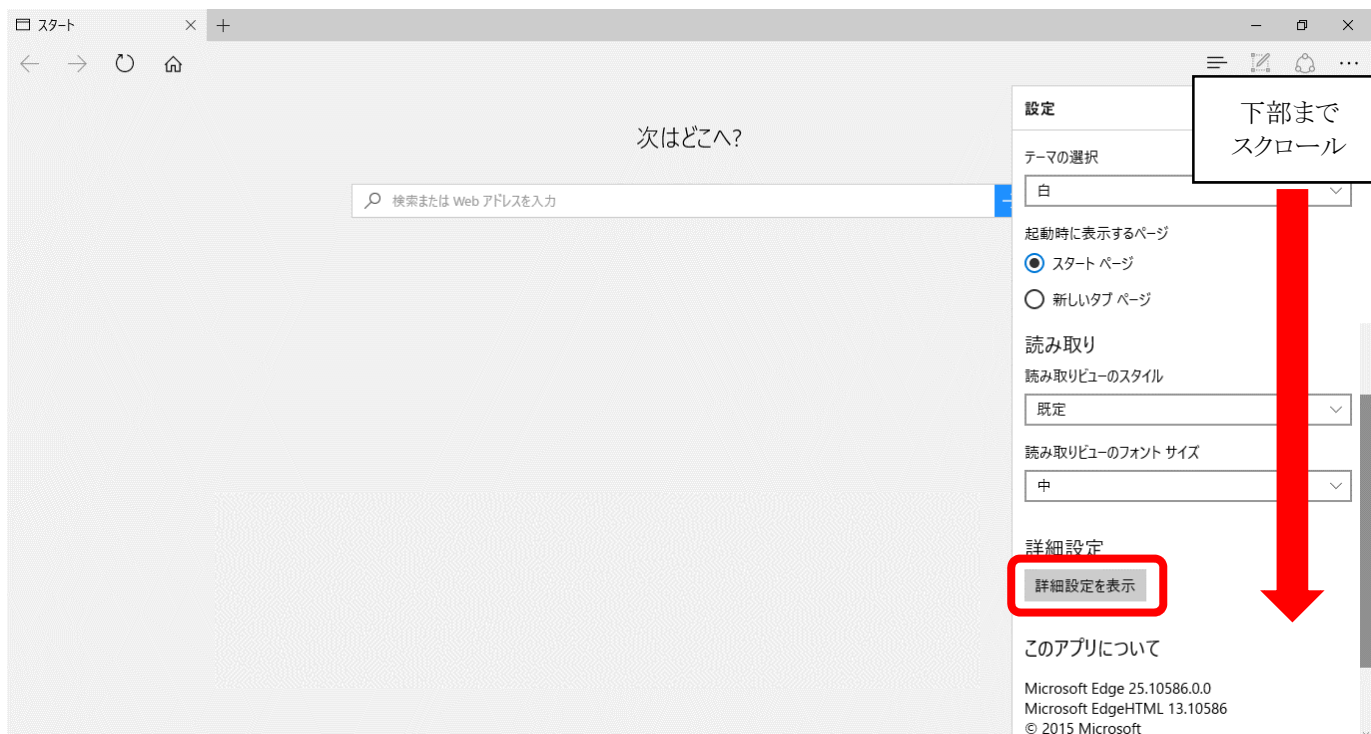
③ 右上の[ 他の操作 ]ボタン (「…」で表示) をクリックします。



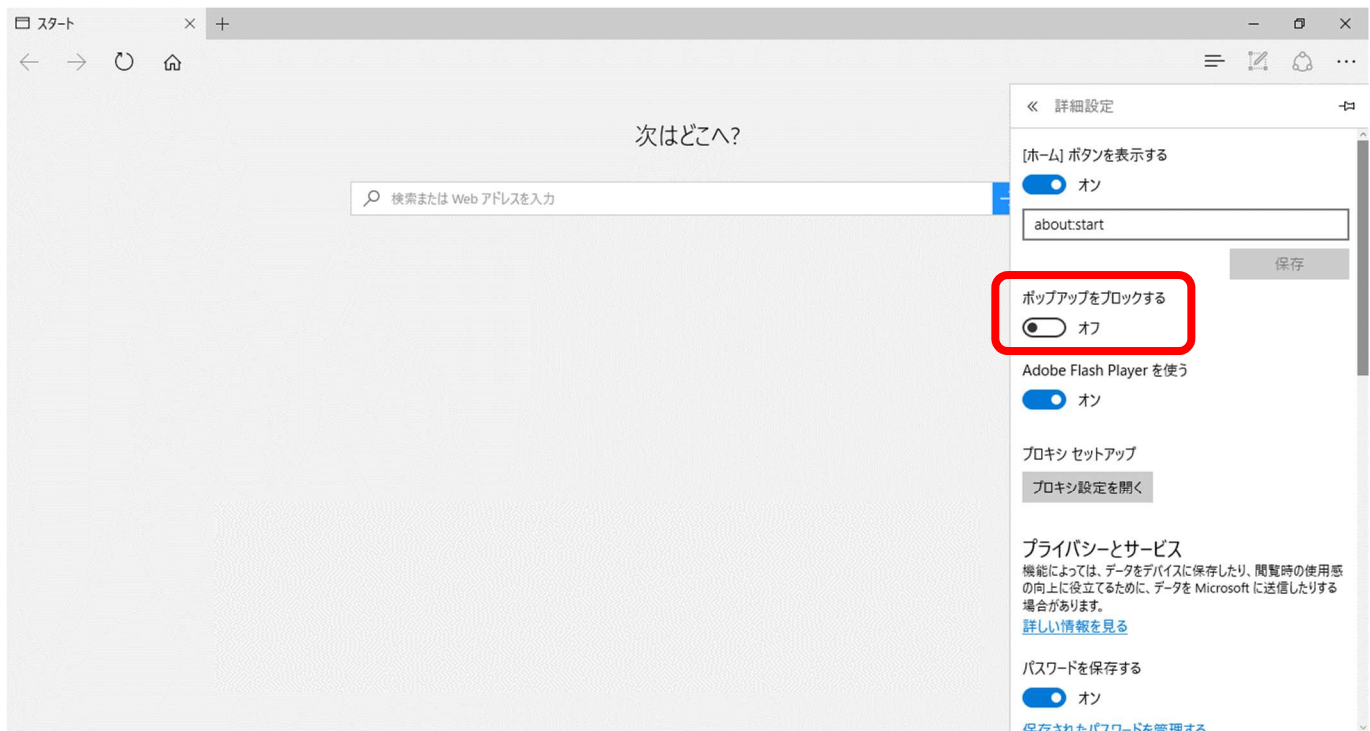
④ メニューが表示されますので、「設定」をクリックします。



⑤ 設定メニューが表示されますので、下部までスクロールして、[ 詳細設定を表示 ]をクリックします。



⑥ 「詳細設定」が表示されますので、「ポップアップをブロックする」を「オフ」にします。



⑥開始画面から「 https://www.pn.jfc.go.jp/PartnerNet/ 」を入力し、「→」ボタンをクリックしてください。

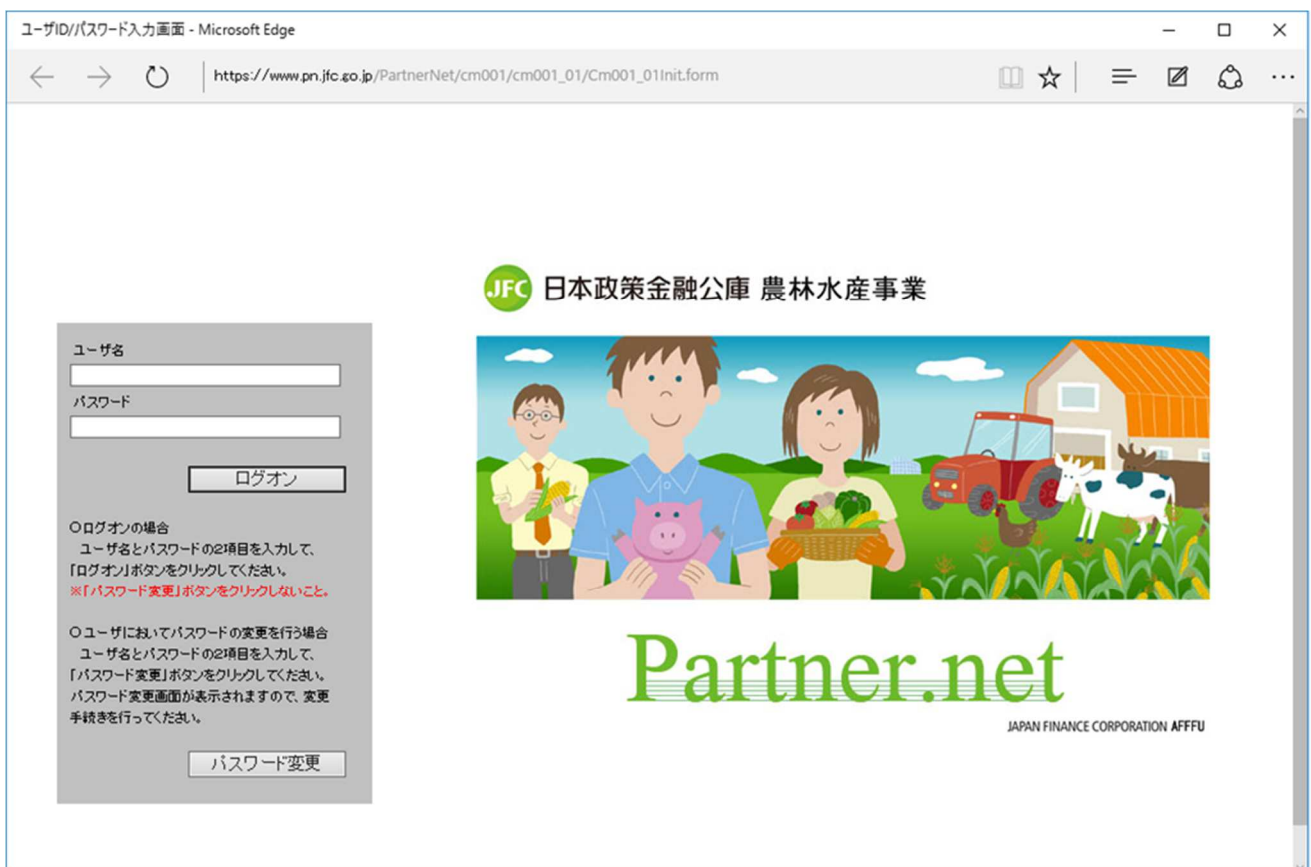




⑦資格情報を要求する画面が表示されましたら、「許可」をクリックしてください。



⑧パートナーネットのログイン画面が表示されることを確認してください。



## 9-4 Windows10 での Internet Explorer 11 の起動方法

Windows 10 では、標準ブラウザが Microsoft Edge に置き換えられました。Internet Explorer 11 は互換性維持のために残されていますが、スタートメニューやタスクバー等の分かりやすい位置には Internet Explorer のアイコンが表示されないようになっています。

ここでは、Windows 10 で Internet Explorer 11 を起動する方法を説明します。

### (1) スタートメニューから起動する方法

- ① デスクトップ左下のスタートボタンをクリックします。

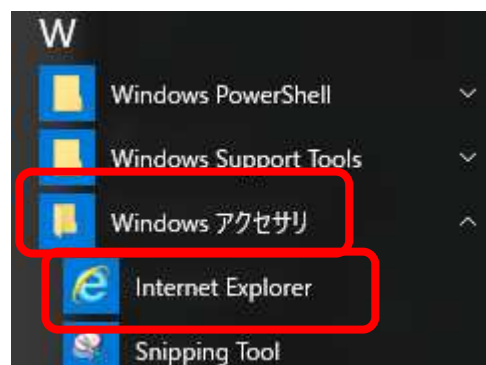


- ② 「すべてのアプリ」をクリックします。



- ③ 下にスクロールして、「Windows アクセサリ」をクリックします。

「Internet Explorer」が表示されますので、それをクリックすると、Internet Explorer が起動します。

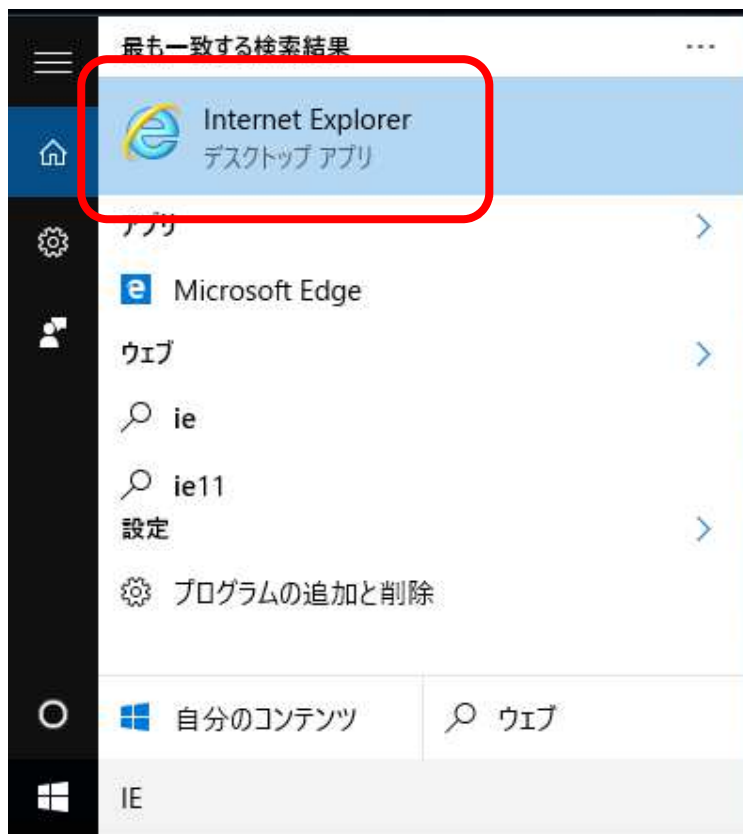


## (2) 検索ボックスから起動する方法

①検索ボックスで「IE」と入力します。



②検索結果に「Internet Explorer」が表示  
されますので、それをクリックすると  
Internet Explorer が起動します。

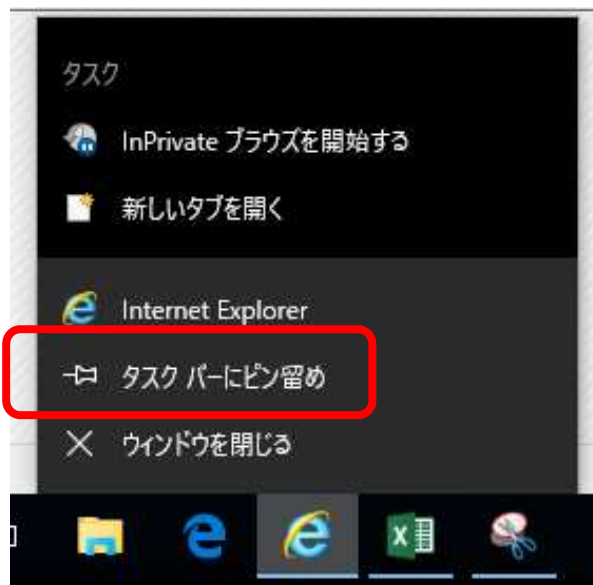


## (3) 次回以降の起動を簡単にするために

①Internet Explorer が起動している状態で、  
タスクバーの Internet Explorer の  
アイコンを右クリックします。



② 「タスクバーにピン留め」をクリックします。



③ 次回以降タスクバーにある Internet Explorer のアイコンから Internet Explorer を起動することができます。



## 9-5 Microsoft Edge の Chromium 版の IE モード設定

①以下のサイトから Microsoft Edge の Chromium 版をダウンロードする。(※)

### ■ダウンロードサイト

<https://support.microsoft.com/ja-jp/microsoft-edge/chromium-%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%81%AE%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84-microsoft-edge-%E3%82%92%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%99%E3%82%8B-0f4a3dd7-55df-60f5-739f-00010dba52cf>

(※) 使用するパソコンに搭載済の場合、本操作は不要です。

②Microsoft Edge を起動し、[設定]>[既定のブラウザー]>[Internet Explorer の互換性]に進む。

③[Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可]を「許可」に変更し、[Internet Explorer モードページ]に「ユーザ I D」及び初期パスワードを郵送した際に通知した URL のうち、電子証明書のインストール用のものを追加する。

既定のブラウザー

Microsoft Edge は既定のブラウザーです 既定に設定する

Internet Explorer の互換性

Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる 互換性のないサイトのみ

Internet Explorer でブラウズするときに、Microsoft Edge でサイトを自動的に開くように選択できます

Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 許可

Microsoft Edge でブラウズするときに、互換性を確保するために Internet Explorer が必要な場合は、Internet Explorer モードで再度読み込むことを選択できます。

Internet Explorer モード ページ 追加

これらのページは、ページ追加日から 30 日間 Internet Explorer モードで開きます。Internet Explorer モードで自動的に開くページが 2 ページあります。

ページ	追加日	有効期限	
<input type="text" value="URLを入力"/>	2022/2/3	2022/3/5	

④[この設定の変更を有効にするには、ブラウザーを再起動してください]と表示され、「再起動」を押下する。

Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 許可

Microsoft Edge でブラウズするときに、互換性を確保するために Internet Explorer が必要な場合は、Internet Explorer モードで再度読み込むことを選択できます。

この設定の変更を有効にするには、ブラウザーを再起動してください 再起動